科目名	測量に関する数学 I		英文名	Mathemat	Mathematics I					
担当者	茗荷翔ス	k	実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義	
開講期	通年	前期: 2時間(回数:	15 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	60 時間	
教材 教具	高専の数学 1 (森北出版㈱)									

【学修内容】科目のねらい(目的)

数学は測量や土木関係の専門分野で活用できる能力が求められる。1 年次では高校までに学習した基礎数学を確実に理解する能力を養うことを目的とする。

【授業計画】 コー	マシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)					
1 実数、素因数分解と分数		1	三角関数(正弦定理、余弦定理ヘロンの公式)の再テスト					
	根を含む式の計算、練習問題	2	2次関数のグラフ、練習問題					
3 整式の加法・減法、整式の		3						
4 因数分解、整式の除法、		4	2次方程式の解、練習問題					
5 整式の約数・倍数、練習問		5	複素数の計算(和・差・積・商)					
6 前期中間考査	-	6	2 次方程式の解、判別式、練習問題					
7 三角関数の定義、練習問	題	7	解と係数の関係、テスト前事前練習問題					
8 鋭角の三角関数、公式の	説明、練習問題	8	後期中間考査					
9 一般角と弧度法、練習問	題	9	グラフと方程式の解、練習問題					
10 一般角の三角関数、練習	問題	10	直線との共有点					
11 一般角の三角関数、練習	問題、章末問題の解答、夏休み前定着確認テスト	11	不等式、2 次不等式 (x 軸と異なる 2 点で交わる場合)、練習問題					
12 夏休み後定着確認テスト	、三角関数の関係、練習問題	12	2次不等式 (x 軸と接する場合、x 軸との共有点を持たない場合)、練習問題					
13 三角形の面積と正弦定理、練習問題			関数とグラフ(関数、平行移動)、練習問題					
14 余弦定理、ヘロンの公式、練習問題、テスト範囲説明			関数とグラフ(対称移動、べき関数)、練習問題					
15 前期期末考査		15	後期期末考査					
授業力法 す (授業の進め方) す			で行い、演習問題を多く取り入れ対話型の授業と める。併せてコミュニケーション能力育成にも配					
到達目標数	女学の基礎知識が確実に身に付き	き、 『	専門科目の中で活用できる。					
成績評価の 方法と基準 授		る。) 点以上を合格とする。満点は、定期試験 70 点、 理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計 49 点					
	自宅学習による授業ごとの予習 課題、レポートは期日までに付							
(7) ツツツ 日 日 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								

※授業の1単位時間は45分とする

が決定すり屋が開びかり									
科目名	測量に関	関する情報処理	英文名	Introduction to Information					1-2
担当者	首 名何翔太 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の		実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義
開講期	前期	前期: 2時間(回数	: 15回)	後期:	時間	(回数:	回)	授業時数	30 時間
教材 教具									
【学修内	【学修内容】科目のねらい(目的)								

近年、測量データのコンピューター処理化が進んでおり、本専門学校の測量環境工学科でも、コンピューターをより有効活用する能力が求められている。特に、最近の技術として地理空間情報の取り扱いについて知識を広く求められている。地理・地図情報処理に関する通信技術などの理解を深め、その活用能力を養うことを目的とする。

【担	受業計画】	コマシラバス(前 期)	コマシラバス(後 期)					
1	1 地理院の地図							
2	地理院の地図		2					
3	3 基準点・測地観測データ							
4	基準点・測地	2観測データ	4					
5	地図・空中写	真・地理調査	5					
6	地図・空中写	真・地理調査	6					
7	防災関連		7					
8	前期中間考查	防災関連	8					
9	GIS・国土の	青報	9					
10	GIS・国土の	青報	10					
11	申請•承認		11					
12	2 申請・承認							
13	13 スーパーマップビュウワーについて							
14	14 スーパーマップビュウワーについて							
15	15 前期中間考査							
授業方法 (授業の進め方) 授業は、パソコンルームで、インターネットを活用して行う。								
	到達目標	情報処理の基本的な流れおよび利用に対応できる基礎的な知識を		こ対する考え方や方法を学び、将来、現場での応付ける。				
	・出席率:100% 成績評価の 方法と基準 ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験70点 授業態度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計49点 以下とする。この場合、補習必要。							
	授業時間以外に ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。 ・課題、レポートは期日までに作成して提出する。							
	履修に当たって の留意点 と関係を関係して、投業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす必要がある。							

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	測量学概論		英文名	Survey	Survey Introduction				
担当者	室近淳一 実務経 の有無			無	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義
開講期	通年	: 15 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	60 時間	
教材 教具									

【学修内容】科目のねらい(目的)

本科目は、国土地理院の測量士補養成登録施設校として要求されるカリキュラムの一つで、測量・地 図発達の歴史、我が国の測量体系、測量の基準、楕円体測地学の基礎、測量技術の概要、地球の物理と 測量、最新の測量技術等について知識を深めることを目的とする。

	~ \!!! ~ ! — · \$	();	1	3 (44 112)					
【 抄	受業計画】 	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)					
1	測量技術の起源と歴	史	1	座標変換					
2	測量技術の起源と歴史			座標変換					
3	測量の定義・分類		3	座標変換					
4	測量の定義・分類		4	最小二乗法					
5	座標系とは		5	最小二乗法					
6	座標系とは		6	最小二乗法					
7	地球の形と座標系		7	最小二乗法					
8	前期中間考査		8	後期中間考査					
9	測量における座標系	・経緯度座標系	9	偏心観測					
10	測量における座標系	・経緯度座標系	10	偏心観測					
11	測量における座標系	・経緯度座標系	11	偏心観測					
12	2 平面直角座標系			四辺形の調整計算					
13	平面直角座標系			四辺形の調整計算					
14	4 平面直角座標系			四辺形の調整計算					
15	前期期末考査		15	後期期末考査					
	授業方法 業の進め方)		プレナ	関を多く取り入れながら、確実な定着を図るとと ゼンテーションの仕方なども合わせて行い、コミ てる。					
	到達目標	測量の概要が確実に把握でき、	各測量	量関係の科目の趣旨を把握できること。					
	・出席率:100% 成績評価の 方法と基準 ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験70点、 授業態度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計49点 以下とする。この場合、補習必要。								
	巻時間以外に 必要な学修	・自宅学習による授業ごとの予行 ・課題、レポートは期日までに付							
	多に当たって の留意点	組む積極的な姿勢があるかどうだ	かなる	民り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り どの平素の行動を評価するものである。 没校としての基準(100%)を満たす必要がある。					

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	多角測量	<u></u> 工	英文名	Tra	v e r s	i n g			1-4
担当者	宮近淳-	_	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義
開講期	通年	前期: 2時間(回数:	15 回)	後期:	2 時間	(回数:1	5回)	授業時数	60 時間
教材 教具									
担当者 の実務 経験	宮近淳-	一:測量設計会社にて多 土地家屋調査士事務					間査		

【学修内容】科目のねらい(目的)

高次の基準点を利用して、低次の基準点を設置する作業を実施するための、基本的な考え方、実施作 業の進め方、データの取得法、又、その処理法を学ぶことを目的とする。

【授業計画】 コマシラバス (前 期) コマシラバス (後 期) 1 多角測量について						
2 測量の基準となる点、数学座標と測量座標の比較 2 方向角の計算、方向角の閉合差 3 三角関数 3 計算簿上での方向角の計算法 4 測量の基準(ジオイド等) 4 座標の閉合差及び閉合比 5 座標について(平面直角座標) 5 計算簿上での座標計算法 6 座標計算 6 座標による距離・方向角の計算 7 阿期中間考查 7 後期中間考查 8 測量平均法(最小2乗法の基礎) 9 算術平均、分散、標準偏差 9 気泡管の感度、視準軸誤差、水平軸誤差 9 算術平均、分散、標準偏差 10 鉱車誤差、気泡管軸と鉛直軸の直交 10 重みつき観測の平均計算 11 器械の致心・整置、角度の観測法 11 簡易網平均計算 12 信傅と較差 12 目標の偏心 13 光波測距儀(IS) 13 観測の偏心 14 距離測定値に対する各種補正 14 相互偏心 15 前期期末考査 接期期末考査						
3 三角関数 3 計算簿上での方向角の計算法 4 測量の基準(ジオイド等) 4 座標の閉合差及び閉合比 5 座標について(平面直角座標) 5 計算簿上での座標計算法 6 座標による距離・方向角の計算 7 前期中間考査 7 後期中間考査 8 測量平均法(最小2乗法の基礎) 9 気流管の感度、視準軸誤差、水平軸誤差 9 算術平均、分散、標準偏差 10 動みつき観測の平均計算 11 器械の致心・整置、角度の観測法 11 簡易網平均計算 12 信角と較差 12 目標の偏心 13 光波測距儀(TS) 13 観測の偏心 14 距離測定値に対する各種補正 14 相互偏心 15 前期期末考査 後期期末考査						
4 測量の基準 (ジオイド等) 4 座標の閉合差及び閉合比 5 座標について (平面直角座標) 5 計算簿上での座標計算法 6 座標計算 6 座標による距離・方向角の計算 7 前期中間考査 8 測量平均法 (最小2乗法の基礎) 9 気泡管の感度、視準軸誤差、水平軸誤差 9 算術平均、分散、標準偏差 10 重みつき観測の平均計算 11 器械の致心・整置、角度の観測法 11 簡易網平均計算 12 倍角と較差 12 目標の偏心 13 光波測距儀 (TS) 13 観測の偏心 14 斑腫測定値に対する各種補正 14 相互偏心 15 前期期末考査 15 後期期末考査						
5 座標について(平面直角座標) 5 計算簿上での座標計算法 6 座標計算 6 座標による距離・方向角の計算 7 優期中間考査 8 測量平均法(最小2乗法の基礎) 9 気泡管の感度、視準軸誤差、水平軸誤差 9 算術平均、分散、標準偏差 10 鉛直軸誤差、気泡管軸と鉛直軸の直交 10 重みつき観測の平均計算 11 器械の致心・整置、角度の観測法 11 簡易網平均計算 12 倍角と較差 12 目標の偏心 13 光波測距儀(TS) 13 観測の偏心 14 距離測定値に対する各種補正 14 相互偏心 15 前期期末考査 15 後期期末考査						
6 座標計算 7 前期中間考査、						
7前期中間考査、 別角器械の軸、気泡管 97後期中間考査 8測量平均法(最小2乗法の基礎) 99気泡管の感度、視準軸誤差、水平軸誤差 99算術平均、分散、標準偏差 1010重みつき観測の平均計算 11簡易網平均計算 1212倍角と軟差 1312目標の偏心 1313光波測距儀(TS) 1413観測の偏心 1415前期期末考査15後期期末考査						
8 測角器械の軸、気泡管 8 測量平均法(最小2乗法の基礎) 9 気泡管の感度、視準軸誤差、水平軸誤差 9 算術平均、分散、標準偏差 10 転かつき観測の平均計算 11 器械の致心・整置、角度の観測法 11 簡易網平均計算 12 信角と較差 12 目標の偏心 13 光波測距儀(TS) 13 観測の偏心 14 距離測定値に対する各種補正 14 相互偏心 15 前期期末考査 15 後期期末考査 授業方法 授業は講義形式で行い、それぞれの場面で演習問題をすることにより、知識						
9気泡管の感度、視準軸誤差、水平軸誤差9算術平均、分散、標準偏差10鉛直軸誤差、気泡管軸と鉛直軸の直交10重みつき観測の平均計算11器械の致心・整置、角度の観測法11簡易網平均計算12倍角と較差12目標の偏心13光波測距儀(TS)13観測の偏心14距離測定値に対する各種補正14相互偏心15前期期末考査15後期期末考査						
10鉛直軸誤差、気泡管軸と鉛直軸の直交10重みつき観測の平均計算11器械の致心・整置、角度の観測法11簡易網平均計算12倍角と較差12目標の偏心13光波測距儀(TS)13観測の偏心14距離測定値に対する各種補正14相互偏心15前期期末考査15後期期末考査授業方法授業は講義形式で行い、それぞれの場面で演習問題をすることにより、知識						
11 器械の致心・整置、角度の観測法 11 簡易網平均計算 12 倍角と較差 12 目標の偏心 13 光波測距儀(TS) 13 観測の偏心 14 距離測定値に対する各種補正 14 相互偏心 15 前期期末考査 15 後期期末考査 授業方法 授業は講義形式で行い、それぞれの場面で演習問題をすることにより、知識						
12 信角と較差 12 目標の偏心 13 光波測距儀(TS) 13 観測の偏心 14 距離測定値に対する各種補正 14 相互偏心 15 前期期末考査 15 後期期末考査 授業方法 授業は講義形式で行い、それぞれの場面で演習問題をすることにより、知識						
13 光波測距儀 (TS) 14 距離測定値に対する各種補正 15 前期期末考査 授業方法 授業は講義形式で行い、それぞれの場面で演習問題をすることにより、知識						
14 距離測定値に対する各種補正 14 相互偏心 15 前期期末考査 15 後期期末考査 授業方法 授業は講義形式で行い、それぞれの場面で演習問題をすることにより、知識						
15 前期期末考査 15 後期期末考査 授業方法 授業は講義形式で行い、それぞれの場面で演習問題をすることにより、知識						
授業方法 授業は講義形式で行い、それぞれの場面で演習問題をすることにより、知識						
	で定着					
到達目標 多角測量の基礎知識が身に付き、各種の計算処理が遂行できること。						
・出席率:100% 成績評価の 方法と基準 ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験 授業態度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合意 以下とする。この場合、補習必要。	-					
授業時間以外に ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。 ・課題、レポートは期日までに作成して提出する。						
履修に当たって の留意点 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす必要がある。						

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	水準測量	<u>.</u> 正	英文名	Leve	l i n	g			1-5
担当者	宮近淳-	_	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義
開講期	前期	前期: 2時間(回数:	15 回)	後期:	時間	(回数:	回)	授業時数	30 時間
教材 教具									
担当者 の実務 経験	宮近淳一: 測量設計会社にて多角、水準、現況、用地の測量 土地家屋調査士事務所で多角、現況、境界測量、土地調査								

【学修内容】科目のねらい(目的)

水準測量で使用する器械の点検・調整及び観測方法を学び、その後、観測値の計算・処理法を 習得することを目的とする。

【授業計画】 コマシラバス(前 期)				コマシラバス(後 期)					
1	水準測量	コ、フラバハ (Hij - 対 i)	1						
2	水準測量の観測(高	低差)	2						
3									
4	ティルティングレベ	ルとオートレベル	4						
5	コンペンセーターと	ダンパー	5						
6	前期中間考査		6						
7	器械の点検と調整	(気泡管)	7						
8	器械の点検と調整	(不等距離法)	8						
9	水準測量の誤差		9						
10	器高式と昇降式		10						
	誤差伝播の法則		11						
12	往復観測の較差(往	復差)	12						
13	3 環閉合差								
	14 重みつき観測の平均計算								
15	前期期末考査		15						
	授業方法 業の進め方)	授業は講義形式で行い、随時、沿	寅習る	を取り入れながら進める。					
	到達目標	器械の点検・調整法や、得られた になる。	を観測	側値の良否の判断及び各種計算処理ができるよう					
	战績評価の 万法と基準		る。	O 点以上を合格とする。満点は、定期試験 70 点、 理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計 49 点					
	授業時間以外に ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。 必要な学修 ・課題、レポートは期日までに作成して提出する。								
	履修に当たって の留意点 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす必要がある。								

科目名	A 地形測量 英文名 英文名			Topogra	Topographical surveying						
担当者	大塚普ク	Z.	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義		
開講期	通年	前期: 2時間(回数:	: 15 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	60 時間		
教材 教具											
担当者 の実務 経験	者 大塚普久:建設コンサルタント会社、大手ゼネコンにて測量に関する情報処理、地形測量、編										
F 334 44 .											

【学修内容】科目のねらい(目的)

本科目は、国土地理院の測量士補養成登録施設校として要求されるカリキュラムの一つで、平板測量、TS・GPS による地形測量、デジタルマッピング、GIS について基礎知識を学習することを目的とする。

	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後期)						
	則量の分類と精度・距離測量用機器	1	前期期末考査の結果と解説。数値地形測量・概要						
2 距離測量の方法と		2	各部の名称と構造・基本機能						
3 スタジア測量による	3方法	3	各部の名称と構造・基本機能						
4 距離測量計算問題		4	応用測定機能						
5 地形測量および写		5	応用測定機能						
6 地形測量および写		6	トータルステーションシステム						
7 図解平板測量・演習	習問題と解説	7	トータルステーションシステム						
8 前期中間考査		8	後期中間考査の概要と解説、演習問題と解説						
9 前期中間考査の結果	果と解説。図解平板測量。	9	後期中間考査						
10 図解平板測量		10	後期中間考査の結果と解説						
11 図解平板測量。		11	作業工程と作業内容						
12 図解平板測量。		12	GPS による細部測量						
13 トータルステーシルステーシャステーションの	ョンによる測量・トータルステーションとは・トータ 種類	13	GPS による細部測量						
14 トータルステーションによる測量・トータルステーションとは・トータルステーションの種類			TS や GPS 以外のオンライン方式						
15 前期期末考査		15	後期学年末考査						
授業方法 (授業の進め方)			で行い、演習問題を多く取り入れ対話型の授業と める。併せてコミュニケーション能力育成にも配						
到達目標	地形測量の基礎知識が確実に身に	こ付き	き、専門科目の中で活用できる。						
成績評価の 方法と基準		る。	0 点以上を合格とする。満点は、定期試験 70 点、 理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計 49 点						
授業時間以外に 必要な学修	・自宅学習による授業ごとの予 ・課題、レポートは期日までに何								
履修に当たって の留意点 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす必要がある。									

学科名 (測量環境工学科) ※授業の1単位時間は45分とする

科目名	応用力等	Ž	英文名	Applied	Mechan	ics			1-7
担当者	茗荷翔ス	t	実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義
開講期	通年	前期: 2時間(回数:	15 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	60 時間
教材 教具	土木構造設計 1 (実教出版 (株))								

【学修内容】科目のねらい(目的)

土木構造物の設計計画の基礎となる構造力学について学ぶ。

具体的には、力の種類と大きさ、方向、外力に対する安定条件、各種モーメント、内部応力などについて学習することを目的とする。

			I							
【授業計画	Î]	コマシラバス(前期)		コマシラバス(後 期)						
1 構造物の基	基本形状と	種類、構造物に作用する力	1	トラスの反力1						
2 荷重の種類	質、力の台	合成と分解	2	トラスの反力 2						
3 力のモーメ	マント、カ]の釣り合い	3	軸方向の内力						
4 第1章 章	重末問題	、支点の種類と反力	4	軸方向以外の内力						
5 単純梁の反	えカ (集中	7荷重)	5	梁のせん断力						
6 前期中	間考査		6	曲げモーメントと曲げ応力						
7 単純梁の反	えカ (斜め	の荷重)	7	梁の曲げモーメント						
8 単純粱の反	えカ (等分	分布荷重)	8	後期中間考査						
9 単純粱の反	えカ (等変	受分布荷重)	9	断面一次モーメントと図心 1						
10 張出し梁の)反力		10	断面一次モーメントと図心 2						
11 片持ち梁の	反力		11	断面一次モーメントと図心 3						
12 下端固定・	上端自由	日の柱の反力	12	断面二次モーメント						
13 静定ラーメ	ソの反力	J 1	13	組み合わせ断面の断面二次モーメント 1						
14 静定ラーメ	ソンの反力	J 2	14	1 組み合わせ断面の断面二次モーメント 2						
15 前期期	末考査		15	後期期末考査						
授業方法 (授業の進				で行い、演習問題を多く取り入れ対話型の授業と める。併せてコミュニケーション能力育成にも配						
到達目標	票	力とモーメントを利用して構造的物や柱・ラーメンの構造解析が		できる能力を身につける。具体的には、静定構造 る能力を身につける。						
成績評価 方法と基				0 点以上を合格とする。満点は、定期試験 60 点、 を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席						
	受業時間以外に ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。 必要な学修 ・課題、レポートは期日までに作成して提出する。									
履修に当たの留意が		取り組む積極的な姿勢があるか。	どうれ	民り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に かなどの平素の行動を評価するものである。 没校としての基準(100%)を満たす必要がある。						

留意点

※授業の1単位時間は45分とする

							※ 授業の	01単位	時間は 45 分	分とする
科目名	水理学		英文名	Hyd	raulic	s				1-8
担当者	者 澁谷勝七	<u>tı</u>	実務経験 の有無	4	 -	選択 必修	必修	科目区分	専門科目	• 講義
開講其	期 通年	前期: 2時間(回数:	15 回)	後其	月: 2	時間	(回数:	15 回)	授業時数	60 時間
教材 教具		上 姓力学(実教出版(株))								
本利	斗目は、国=	目のねらい(目的) 上地理院の測量士補養成 水の流れ、管水路、開								水の物理
【授弟	業計画 】	コマシラバス(前 期)				コ	マシラノ	バス(後	期)	
1 水	:理学の歴史、治水	:・利水と水理、水理でよく使う単位		1			果と解説。平		る全水圧(平面に作	F用する全水圧
2 力	kの物理的性質(z	量(演習問題))	2					水圧と作用点の一般	公式(作用点の	
3 水	の物理的性質(水		3	(演習問	題)					
	面張力と毛管現象		4	曲面に作	用する全	水圧(演習問	題)			
h	・水圧(液体の分子 水圧、(演習問題)	ける水圧、水深	5	浮力と浮	体(演習	問題)				
					流速と流	量(演習	問題)			
-	前期中間考査			7			要と解説、演	習問題と解記	Ź	
		水圧計、差圧計、(演習問題)))原理(演習問題))		8	後期中間表	-	・Dケ 1、目目 Jレ Dケ	力告法 1. 北京	ラ夢法 旅法 1. ア 原	5法\
亚		パス珪(俱首问趣)) 、圧(水平な平面に作用する全水圧と・	その作用点(演							
图 图	問題)			10 流れの種類(増流と乱流、常流と射流)						
		K圧(鉛直な長方形平面に作用する全) 形の場合(演習問題)))	水圧とその作用							
17		(圧 (鉛直な長方形平面に作用する全)の場合(演習問題)))	水圧とその作用	12 損失水頭(損失水頭とベルヌーイの定理(損失水頭、(演習問題)))					題)))	
13	面に作用する全水 点(演習問題)	K圧(傾斜した長方形平面に作用する。	全水圧とその作	13	損失水頭 (演習問題		頭とベルヌー	イの定理(開	水路におけるベル	ヌーイの定理、
		と解説。演習問題と解説		14			要と解説。演	習問題と解詞	Ř	
15 前	i期期末考査			15	後期期末者	音査				
	発業方法 業の進め方)	授業 (基礎の理解) はプレ 理解力、応用力を高める。	, ,		D 1 1 1 3/1			7 7 7 7 1		, , , ,
到	達目標	土木	建設専門	科目の	の中で活用	できる。				
	績評価の 法と基準	・出席率:70% ・成績の評価割合:100点 授業態度20点の割合を標								
	計間以外に必 な学修	・自宅学習による授業ごと・課題、レポートは期日) _o				
履修に当たっての 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り組む積極的な姿								責極的な姿		

勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。

また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準 (100%) を満たす必要がある。

科目名	土質工学		英文名	Soil Me	Soil Mechanics							
担当者	山村憲章	章	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義			
開講期	通年	前期: 2時間(回数:	15 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	60 時間			
教材 教具	土木基础	姓力学 2(実教出版(株))、土木国	国家公務員	員の問題	と解説	(理工図	書(株))				
担当者 の実務 経験	山村憲章	山村憲章:上水道施設工事(浄水場施設、土木、建築、管工事、電気含む)の施工管理 土木・建築工事(一般土木、建築、管工事、電気含む)の施工管理 土木調査測量設計コンサルタントにて調査・設計・施工管理										
7 24 1分日		1 0 lo 2 1 \ (\D 44 \)										

【学修内容】科目のねらい(目的)

本科目は、国土地理院の測量士補養成登録施設校として要求されるカリキュラムの一つで、土質力学 の基本、土中の水の流れと毛管現象、地中の応力、土の圧密、土の強さ、土圧、地盤の支持力、斜面の

		Kの流れと毛管現象、地中の応力、 Wを深めることを目的とする。	土	の圧密、土の強さ、土圧、地盤の支持力、斜面の
		コマシラバス(前期)		コマシラバス(後 期)
1 2 3	土質力学の基礎 土質力学の基本(土	コマンノハス (前 男1) この生成(岩石の風化作用)) の生成(地盤の生成、生成された土層の特徴))	1 2 3	前期期末考査の結果と解説。毛管現象と土の凍上 演習問題 地中の応力(土に働く応力)
4	_, , , , , _ , , , , , , , , , , , , ,	事と調査、土質調査(サウンディング、土資料の採	4	荷重による鉛直方向の増加応力
5 6	前期中間考査の概要 前期中間考査		5 6	土中の水の流れによる地中応力の変化 有効応力と過剰間げき水圧
7	含水比、間げき比と		7	土の圧密(圧密現象と圧密試験)
8	土の構成と状態の表 体積重量、土の状態 土の分類(粒度)	し方(土の構造、土の状態の表し方(土の密度と単位を表す諸量の計算))	8	後期中間考査の概要と解説。演習問題 後期中間考査
_	土の分類(土のコン	システンシー、土の工学的分類法) ・(土の締め固めの性質とその試験、締め固めた土の	10	佐州中间与国 土の圧縮性と圧密沈下量
11	判定、CBR 試験)	(土の神の自めの注質とての武衆、神の自めた土の 芸管現象(土中の水の流れと透水性(土中の水の流れ、	11	沈下時間
12 13	ダルシーの法則と透	水係数、土の透水試験)) 水性(透水量の計算)	12 13	ンの式とモールの応力円の関係)) せん断試験
	前期期末考査の概要 前期期末考査	と解説。演習問題	14 15	土の種類によるせん断強さの性質。後期学年末考査の解説。 後期学年考査
	授業方法 受業の進め方)			演習問題を多く取り入れ対話型の授業とすることにより ケーション能力育成にも配慮しながら授業を行う。
	到達目標	土質の基礎知識が確実に身に付き、土	:木建	設の専門科目の中で活用できる。
	成績評価の 方法と基準			上を合格とする。満点は、定期試験 60 点、出席率 20 点、 3の分母は影響与えない欠席時数 (フロート時間) とする。
授業	時間以外に必 要な学修	・自宅学習による授業ごとの予習、復 ・課題、レポートは期日までに作成し		
履修	をに当たっての 留意点	取り組む積極的な姿勢があるかどうか	など	スマホ、机上整理や言葉使い、授業に の平素の行動を評価するものである。 しての基準(100%)を満たす必要がある。

科目名	各種計画	画 (造園計画含む)	英文名		ious plans andscape ga			竹 (よ 40 人	1-10
担当者	大塚普久	ζ.	実務経験 の有無		andscape gal 選択 必修	必修	科目区分	専門科目	・講義
開講期	前期	前期: 2時間(回数:		後其	<u> </u>	(回数:		授業時数	30 時間
教材 教具	造園(多	上 実教出版(株))						<u> </u>	
担当者 の実務 経験	集、設計	ス:建設コンサルタント 汁、インターチェンジ綺 目のねらい(目的)		-		量に関す	る情報	処理、地形	測量、編
本科目	は、国土	1の445v・(日時) 上交通省の2級造園施工 上深めることを目的とす		倹定0	の学科試験に	挑戦する	ための	基礎知識を	び、過去
【授業計	十画】	コマシラバス(前 期)			コ	マシラバ	ス(後	期)	
1 造園と	: 生活、庭園の	発生、造園設計(造園様式と意匠(近	告園様式))	1					
2 造園記	役計 (日本庭園	の様式と意匠)		2					
3 造園部 めかた		園の様式と意匠)、住宅庭園の設計のし	かた (設計の進	3					
4 造園部		の設計のしかた (設計図)、日本庭園	の設計(日本庭	4					
	と計 (日本庭園	の設計 (日本庭園の形態)、様式庭園	の設計(様式庭	5					
		の設計(様式庭園の設計の特徴、様式	代庭園の設備	6					
		と解説。演習問題	WCH PVIII	7					
l	間考査			8					
l ! 		∤ (造園植物の種類))		9					
10 造園村	材(植物材料	・(造園樹木の特性))		10					
11 造園村	材(植物材料	・(繁殖と仕立て))		11					
12 造園村	材料(岩石材料	· (岩石))		12					
13 造園村	材料 (岩石材料	(自然石材・規格、セメント・コンク	リート製品、そ	13					
の他の	材料、竹材・	木材など))		15					
14 造園旅				14					
15 前期期	末考査			15					
授業 (授業の		授業(基礎の理解)は することにより理解力 慮しながら授業を行う	、応用力を						, , .
到達	目標	造園施工の基礎知識 能力が身に付いている		身に作	寸け、造園関	係の工事	の概要	を把握し工	事の管理
成績部 方法と		・出席率:70% ・成績の評価割合:10 出席率20点、授業態 時数 (フロート時間)	度 20 点の割						
授業時間 必要な		・自宅学習による授業・課題、レポートは期							
履修に当の留		授業態度点は、授業 組む積極的な姿勢があ また、出席数は測量士	るかどうだ	かなと	どの平素の行	動を評価	iするも	のである。	

【令和7年度シラバス】 岡山科学技術専門学校 学科名 (測量環境工学科)

		_				※ 授業の) 1 単位	時間は 45	分とする		
科目名	土木施工	工法	英文名	Method o	of Cons	truction	n Work		1-11		
担当者	蒲木秀村	對	実務経験 の有無	有	選択必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義		
開講期	通年	前期: 2時間(回数:	15 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	60 時間		
教材 教具	図解2約	図解2級土木施工管理技士試験三訂版(実教出版(株))									
担当者 の実務 経験	蒲木秀樹:大手ゼネコンにて現場施工管理、労務管理、安全管理等に従事 JR 工事、上下水道工事、造成工事、道路工事等										

【学修内容】科目のねらい(目的)

本科目は、土木施工における基礎知識を学ぶ科目で、土工、コンクリート工、基礎工、土木構造物、 河川・砂防について理解することを目的とする。

【授	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス (後 期)						
1	2級土木施工管理技	術検定試験について。	1	基礎工						
2	土工		2	基礎工						
3	土工		3	基礎工						
4	土工		4	基礎工						
5	土工		5							
6	土工		6	後期中間考査の概要と解説。演習問題						
7	前期中間考査の概要	と解説。演習問題	7	7 後期中間考査						
8	演習問題。前期中間考	查	8 土木構造物							
9	コンクリートエ		9 土木構造物							
10	コンクリートエ		10	土木構造物						
11	コンクリートエ		11	土木構造物						
12	コンクリートエ		12	河川・砂防						
13	コンクリートエ		13	河川・砂防						
14		要と解説。演習問題	14							
15	前期期末考査		15 後期学年末考査							
	授業方法 業の進め方)			で行い、演習問題を多く取り入れ対話型の授業と める。併せてコミュニケーション能力育成にも配						
	到達目標	土木施工の基礎知識を身に付け、	施二	Lの種類、方法、技術的内容が理解できる。						
, ,	対績評価の 可法と基準			0 点以上を合格とする。満点は、定期試験 60 点、 を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席						
授業時間以外に ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。 ・課題、レポートは期日までに作成して提出する。										
	履修に当たって 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り の留意点 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。									
	- pa /2/////			THE PROPERTY OF THE PROPERTY O						

の留意点

【令和7年度シラバス】 岡山科学技術専門学校 学科名(測量環境工学科)

			, ,, ,, ,			, ,,	※ 授業の	01単位	時間は 45 分	うとする	
科目名	施工管理	理法 I	英文名			of Const ent I	truction	n		1-12	
担当者	蒲木秀村	尌	実務経験 の有無		<u>。</u> 有	選択 必修	必修	科目区分	専門科目	• 講義	
開講期	後期	前期: 時間(回数	1	後其	月:		(回数:	1	授業時数	30 時間	
教材 教具	図解2編		美三訂版(第	実教は	出版	(株))			I I		
担当者 の実務	蒲木秀村	樹:大手ゼネコンにて明 JR 工事、上下水道コ		管理、労務管理、安全管理等に従事 成工事、道路工事等							
		目のねらい (目的)						바고 하 사.	/ ゲ ル・	\#\#L. [
	-	木施工管理における道路 哉を学ぶ科目で、工事の	施工管理							道物、上 	
【授業記	十画】	コマシラバス(前 期))		T	コ、	マシラバ	バス(後	期)		
1				1	道路•	舗装					
2				2	道路•	舗装					
3				3	ダム						
4				4	ダム						
5				5	トンネ						
6				6 トンネル 7 海岸・港湾後期中間考査の概要と解説。演習問題							
7							司有宜の慨安	ど解説。演覧	自问趣		
8 9				8	後期中	•					
10				10	海岸・						
11				11		地下構造物					
12				12		地下構造物					
13				13	上下水						
14				14	上下水						
15				15	後期学生	F末考査					
授業 (授業の		授業(基礎の理解)は することにより理解力 慮しながら授業を行う	7、応用力								
到達	目標	施工管理の法的管理方	が的確し	こ身に	こ付き	工事の	計画から	。施工管	理維持がで	きる。	
	・出席率:70% ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験60点、 出席率20点、授業態度20点の割合を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席 時数(フロート時間)とする。										
授業時間 必要な		・自宅学習による授業・課題、レポートは期					る				
履修に当	自たって 音点	授業態度点は、授業								業に取り	

組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。

科目名	上下水道	上下水道			英文名	Environ Enginee		Sanita	ary		1-13
担当者	大塚普久			実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義	
開講期	後期	前期:	時間	(回数	: 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	30 時間
教材 教具	社会基態	28工学(第	 美教出版	(株))	ſ						

【学修内容】科目のねらい(目的)

上水道・下水道システムについて学習する。具体的には水質、水処理工程の仕組み、浄化された水を安全かつ安定して供給する仕組み、また発生した汚水および雨水を迅速かつ安定して排除する仕組みについての基礎的知識を理解することを目的とする。

	知識を理解することを目的とする。	1						
【授業計画】	コマシラバス(前期)		コマシラバス(後期)					
1		1	ガイダンス(本講座の評価方法・教科書の学習順序)、水と人とのかかわり					
2		2	上水道の計画 1 (構成・給水内容)					
3		3	上水道の計画 2 (計画給水量・演習問題)					
4		4	浄水施設 (沈殿池・ろ過池・消毒)					
5		5	高度浄水処理					
6		6	配水施設					
7		7	給水施設					
8		8	下水道の計画 1 (使命・演習問題)					
9		9	後期中間考査					
10		10	下水道の計画 2 (排除方式下水の量)					
11		11	下水道の計画 3 (計画雨水量)					
12		12	下水処理 1 (施設と方法)					
13		13	下水処理 2 (工程)					
14		14	下水処理 3 (下水道の資源の有効利用)					
15		15	後期期末考査					
授業方法 (授業の進め方)			問題を多く取り入れながら、確実な定着を図るとなども合わせて行い、コミュニケーション能力の					
到達目標	生活に密着した「水道」の基礎知	扣識る	を学び、水質保全の観点から環境保全のあり方を					
成績評価の 方法と基準			0 点以上を合格とする。満点は、定期試験 60 点、 を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席					
授業時間以外に 必要な学修								
履修に当たって の留意点	「							

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	管工事 :	I		英文名	Tube co	nstruct	ion I			1-14		
担当者	蒲木秀村	尌		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義		
開講期	後期	前期:	時間(回数	: 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	30 時間		
教材 教具	2級管工	二事施工管	理技術検定受	験テキス	、((株)	日本教育	育訓練セン	ンター)				
担当者 の実務 経験	蒲木秀植	級管工事施工管理技術検定受験テキスト ((株) 日本教育訓練センター)										

【学修内容】科目のねらい(目的)

本科目は、管工事について理解することを目的とする。過去問共。

【授業計画】 コマシラバス (前 期) 1 2 3		コマシラバス(後 期) 受験案内、一般基礎					
2		受職を囚 一般 具傑					
		7					
9		電気・建築					
3		空気調和					
4		換気・排煙					
5		上・下水道					
6		給水・給湯					
7		排水・通気					
8	8	演習問題。設備に関する知識。後期中間考査。					
9	9	後期中間考査の結果と解説。設計時に関する知識					
10	10	施工・工程管理					
11	11	品質・安全管理					
12	12	器機の据付					
13	13	ダクト					
14	14	法規					
15	15	後期学年末考査					
授举方法	授業(基礎の理解)はプレゼン方式で行い、演習問題を多く取り入れ対話型の授業とすることにより理解力、応用力を高める。併せてコミュニケーション能力育成にも配慮しながら授業を行う。						
到達目標管工事の基礎知識を身につけ、	多種多	様な設備について理論的な理解が深まること。					
	・成績の評価割合:100 点満点で、60 点以上を合格とする。満点は、定期試験 60 点、法と基準 出席率 20 点、授業態度 20 点の割合を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席						
	・自宅学習による授業ごとの予習・復習を心掛ける ・課題、レポートは期日までに作成して提出する						
	って 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。						

【令和7年度シラバス】

岡山科学技術専門学校

学科名 (測量環境工学科) ※授業の1単位時間は45分とする

科目名	測量に	関する情報処理実習	英文名	Introduction to Information					1-15
担当者	茗荷翔ス	t	実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・実習
開講期	前期	前期: 2時間(回数:	15 回)	後期:	時間	(回数:	回)	授業時数	30 時間
教材 教具	国土地理	里院 HP							

【学修内容】科目のねらい(目的)

地理院の地図データを基に測量関係ソフトウェアを使って地理地図情報の基礎について学び、測量のデータ処理に対応ができるようになることを目的とする。

	· -			7				
【挖	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)				
1	Ī	アーの基礎的操作	1					
2	コンピュータ	アーの基礎的操作	2					
3	インターネッ		3					
4	インターネッ		4					
5	GIS ソフトの	• • •	5					
6	GIS ソフトの		6					
7		ノプビュウワーの操作	7					
8	スウパーマッ	プビュウワーの操作	8					
9	スウパーマッ	,プビュウワーの操作	9					
10	スウパーマッ	,プビュウワーの操作	10					
11	地理院地図の)インポート	11					
12	地理院地図の)インポート	12					
13	地理院地図0)種類と活用法	13					
14								
15	15 地理院地図の種類と活用法 15 15							
	授業方法 (授業の進め方) 授業は GIS の体験できる実習で行い、地理空間情報に対する理解を深めるよう指導に あたる。							
	到達目標	GIS ソフトは多種多様になっていた 成ができること。	るが、	その操作方法と基礎の地図を利用して主題図の作				
	・出席率:100% 成績評価の 方法と基準 ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、実習実効性70点、 成果品30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計49点以 下とする。この場合、補習必要。							
	受業時間以外に ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。 ・課題、レポートは期日までに作成して提出する。							
	修に当たって の留意点 の留意点 を実態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす必要がある。							

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	五 多角測量実習 英文名 英文名 実務経験				Traversing Practice					
担当者	宮近淳-	一・澁谷勝也・外部講師	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・実習		
開講期	後期 前期: 時間(回数: 回) 後期: 4時間(回数: 15回) 授業時数 60時									
教材 教具	TS、セオドライト、三脚、ミラー、その他(付属品、コンベックス等)									
担当者 の実務 経験	宮近 淳	宮近 淳一: 測量設計会社にて多角、水準、現況、用地の測量 土地家屋調査士事務所で多角、現況、境界測量、土地調査								

【学修内容】科目のねらい(目的)

セオドライトを据え付け、作業規程に定められている方法で角度の測定をし、倍角差・観測差を求め、 観測の良し悪しを判定する。 その結果をもって、単路線からY型網までの一連の計算処理を行い、理 解することを目的とする。

【授業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス (後 期)						
1		1	セオドライトの据え付け						
2		2	北ゴルフ実習地での測角練習(水平角・鉛直角)						
3		3	各班に分かれて観測実習(水平・鉛直角、対回観測)						
4		4	各班に分かれて観測実習(水平・鉛直角、対回観測)						
5		5	各班に分かれて観測実習(水平・鉛直角、対回観測)						
6		6	各班に分かれて観測実習(水平・鉛直角、対回観測、距離測定)						
7		7 各班に分かれて観測実習(水平・鉛直角、対回観測、距離測定)							
8		8 各班に分かれて観測実習(水平・鉛直角、対回観測、距離測定)							
9		9	各班に分かれて観測実習(水平・鉛直角、対回観測、距離測定)						
10		10 手簿の整理(観測データの成果良否確認)							
11		11	方向角の計算(到着点における取付け方向の観測角及び閉合差の配布)						
12		12	座標計算(補正後の方向角と平面距離を用いて計算)						
13		13	Y型網の平均計算(方向角の平均計算)						
14		14	Y型網の平均計算(座標の平均計算)						
15		15 Y型網の平均計算(標高の平均計算)							
授業方法 (授業の進め方)	- 1授業は主教作業形式で行い、規拗での作業後、案内で計算・敷押を行っ								
到達目標	与えられた範囲の全測点での観測ができること。	則を約	終えた後、手簿の整理、計算簿の作成を行うこと						
成績評価の 方法と基準									
授業時間以外に 必要な学修									
履修に当たって の留意点	で 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす必要がある。								

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	地形測量実習			Topograp practice	1-17				
担当者	大塚普久・宮近淳一実務経場・茗荷翔太の有無			有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・実習
開講期	前期	前期: 4時間(回数	: 15 回)	後期:	時間	(回数:	回)	授業時数	60 時間
教材 教具									
担当者 の実務 経験									
V 32 14 1		1 = 1 > > (·					·	

【学修内容】科目のねらい(目的)

本科目は、国土地理院の測量士補養成登録施設校として要求されるカリキュラムの一つで、図解平板 (アナログ)、TS による電子平板測量 (デジタル)、電子平板成果 CAD 編集等について企業と連携して実習を行うことを目的とする。

Hen / CCer								
【授業計画】	コマシラバス(前 期)	コマシラバス(後 期)						
1 TSによる電子平板測	則量(巌井公園にて)実施方法、目的等の解説	1						
2 TSによる電子平板液	測量(北ゴルフにて)基本的な測り方の実演	2						
3 TS による電子平板測量	量 (北ゴルフにて) 現地で地形実習の基本方針の確認、実演	演 3						
	則量(北ゴルフにて)実測要領の解説・実演	4						
5 TSによる電子平板測	則量(北ゴルフにて)平面実測	5						
	則量(北ゴルフにて)平面実測	6						
	則量(北ゴルフにて)平面実測	7						
	測量(北ゴルフにて)中間成果の反省と今後の方針	8						
	則量(北ゴルフにて)平面実測	9						
	則量(北ゴルフにて)平面実測	10						
	則量(北ゴルフにて)平面実測	11						
	則量(北ゴルフにて)平面実測及び照査	12						
13 電子平板成果 CAD 編		13						
14 電子平板成果 CAD 編								
15 測量成果品の成果の	果品の成果の発表と評価 成果品の完成 15							
授業方法 (授業の進め方)								
到達目標	地形測量の技術力が確実に身に	ご付き地形測量図の成果品が作成できる。						
成績評価の 方法と基準								
授業時間以外に 必要な学修								
履修に当たって の留意点	- 「一」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」 「 」							

		本族来の1 中国時間 10 分とする								
科目名	CAD 実習]		英文名	Practice on Computer Aided Design and Drawing					1-18
担当者				実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・実習
開講期	前期	前期:	2 時間(回数	: 15 回)	後期:	時間	(回数:	回)	授業時数	30 時間
教材 教具	Lauto Cod In-ood Rino Irond									
担当者 の実務 経験	宮近淳一:測量設計会社にて多角、水準、現況、用地の測量 土地家屋調査士事務所で多角、現況、境界測量、土地調査									
1 24 1/4-1-	- A-1 10 F	I mile bi	· (□ 44)							

【学修内容】科目のねらい(目的)

近年,実務における設計業務では、CAD 利用が日常化している。

本実習では,企業側からの依頼のあった Auto Cad を用いて,測量・土木設計における利用法を学ぶことを目的とする。

【挖	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)				
1	CADシステ	ムの基礎1(レイヤ等の説明)	1					
2	CADシステ	「ムの基礎 2(簡単な図形描画)	2					
3	擁壁 1-1		3					
4	擁壁 1−2	2	4					
5	水路断面 1	. — 1	5					
6	水路断面 1		6					
7	配筋図 1-		7					
8	配筋図 1-		8					
9	縦断図の作成		9					
10	縦断図の作成		10					
11	標準断面図の	*****	11					
12	標準断面図の		12					
13	横断図の作成		13					
14								
15	照査	15						
	授業方法 実習形式で実施する。 受業の進め方)							
	到達目標	・Auto Cad の操作を学びながら ・製図一般についての理解がで		用的な CAD ソフトの概念を習得する。				
	・出席率:70% ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、実習実効性50点、成果品30点、出席率20点の割合を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席時数(フロート時間)とする。また、テストを実施する場合は実習実効性をテスト点と読み替えるものとする。							
	・自宅学習による授業ごとの予習・復習を心掛ける 必要な学修 ・課題、レポートは期日までに作成して提出する							
	修に当たって の留意点 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は本校の基準を満たす必要がある。							

※授業の1単位時間は45分とする

科目	目名	設計製図	X]	英文名	Draw Exer	ing and Mad	chining			1-19	
担当	当者	宮近淳-	_	実務経験 の有無	有	遠 扣	必修	科目 区分	専門科目	• 実習	
開請		前期	前期: 2時間(回数		後期	1	(回数:	回)	授業時数	30 時間	
教 教		製図セッ	ット、T 型定規								
担当の身経	実務	宮近淳-	-:測量設計会社にて多 土地家屋調査士事務					問査			
【学	学修片		目のねらい(目的) †の基本から CAD の設計	·計画製図	まで行	うことを目	的とする) ₀			
【授	受業計	画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後期)						
1	線、文	字、数字の製図		し版の使い方。	1						
2	簡単な	は図形の演習	(第三角法の理解)		2						
3	構造図]の作成(ブロ	ック積み擁壁)		3						
4	構造図]の作成(水路	構造図)		4						
5	構造図]の作成(H 鋼	桁床版構造図)		5						
6	構造図	の作成(透視	図 2 点法)		6						
7											
8	8 構造図の作成(逆 T 擁壁配筋図)										
9	9 道路設計図の基本										
10	10 構造図の作成(道路標準横断図)										
11											
12	構造図]の作成(道路	縦断図)		12						
13	平面区]の作成(道路	平面図)		13						
14	平面図]の作成(道路	平面図)		14						
15	平面区]の作成(道路	平面図)		15						
	授業	方法 進め方)	授業(基礎の理解)は することにより理解力 慮しながら授業を行う	、応用力を							
	到達	製図の基礎知識を確実に身に付け、各建設施設の設計計画図に CAD で描くことができる。							とができ		
	・出席率:70% ・成績評価の 方法と基準 ・出席率 20 点の割合を標準とする。満点は、実習実効性 50 点、 成果品 30 点、出席率 20 点の割合を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席時数 (フロート時間) とする。また、テストを実施する場合は実習実効性をテスト点と 読み替えるものとする。							い欠席時			
	授業時間以外に 必要な学修・課題、レポートは期日までに作成して提出する										
	履修に当たって 実習態度点は、実習中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、実習に取 の留意点 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。								習に取り		

							※ 授業の) 1 単位	時間は 45	分とする
科目名	就職試	検対策		英文名	Job inte	1-20				
担当者	大塚普久	塚普久・宮近淳一・茗荷翔太 実務経験 無 選択 必修 必修 区分 一般科目・講義								
開講期	後期 前期: 時間(回数: 回) 後期: 2時間(回数: 15回) 授業時数 30時							30 時間		
教材 教具										

【学修内容】科目のねらい(目的)

就職試験に対応する為、SPI、適性検査、面接指導、履歴書作成、添削指導を行う。公務員試験対策等 も行う。

1 展響・エントリーシート作成 2 開整・エントリーシート作成 4 保護・エントリーシート作成 4 展響・エントリーシート作成 6 西接指導 7 西接指導 8 接頭中間考査 面接指導 9 回接指導 10 10 連性検査対策 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		V		(// ₂ - Ha)						
2 履歴書・エントリーシート作成	【授業計画】	】 コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)						
3 腰書・エントリーシート作成 4 保護者・エントリーシート作成 5 腰響者・エントリーシート作成 6 両接指導 7 両接指導 8 優期中間考査 9 可接指導 10 連性検査対策 11 連性検査対策 11 連性検査対策 12 連性検査対策 14 担抗を対策 15 優期期末考査 「投業方法(授業の進め方) 16 世級主教・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1		1							
4 展歴書・エントリーシート作成	2		2	履歴書・エントリーシート作成						
5	3		3	履歴書・エントリーシート作成						
6	4		4	履歴書・エントリーシート作成						
7 面接指導 8 優期中間考査 9 面接指導 10	5		5	履歴書・エントリーシート作成						
8 後期中間考査 9 面接指導 10 適性検査対策 11 適性検査対策 12 適性検査対策 13 適性検査対策 14 14 適性検査対策 15 後期期末考査 授業方法 (授業の進め方) 自己理解を深め、自己 PR、志望動機の作成を行い、履歴書を作成する。就職試験にに大面接練習、適性検査の問題を行う 到達目標 ・履歴書等を作成する文章力を身に付けること。 ・面接試験に必要な作法、適切な受け答えが身に付くこと。 ・就職試験に必要な学力が身に付くこと。 ・出席率:70% ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験 60点出席率20点、授業態度20点の割合を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠原時数(フロート時間)とする。 授業時間以外に ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。	6		6	面接指導						
9	7		7	面接指導						
10	8		8	後期中間考査						
11	9		9	面接指導						
12	10		10	適性検査対策						
13 適性検査対策	11	11 適性検査対策								
14 適性検査対策	12		12	適性検査対策						
投業方法 自己理解を深め、自己 PR、志望動機の作成を行い、履歴書を作成する。就職試験に同じて、	13		13	適性検査対策						
授業方法 (授業の進め方) 自己理解を深め、自己 PR、志望動機の作成を行い、履歴書を作成する。就職試験に同様業の進め方) ・履歴書等を作成する文章力を身に付けること。 ・ 面接試験に必要な作法、適切な受け答えが身に付くこと。 ・ 就職試験に必要な学力が身に付くこと。 ・ 出席率:70% ・ 成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験60点出席率20点、授業態度20点の割合を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠別時数(フロート時間)とする。	14		14 適性検査対策							
(授業の進め方) けた面接練習、適性検査の問題を行う ・履歴書等を作成する文章力を身に付けること。 ・面接試験に必要な作法、適切な受け答えが身に付くこと。 ・就職試験に必要な学力が身に付くこと。 ・ 出席率:70% ・ 成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験60点出席率20点、授業態度20点の割合を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠局時数(フロート時間)とする。 ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。	15		15 後期期末考査							
到達目標 ・面接試験に必要な作法、適切な受け答えが身に付くこと。 ・就職試験に必要な学力が身に付くこと。 ・出席率:70% ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験60点出席率20点、授業態度20点の割合を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠損時数(フロート時間)とする。 ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。										
成績評価の 方法と基準 ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験60点 出席率20点、授業態度20点の割合を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠局 時数(フロート時間)とする。 授業時間以外に ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。	到達目標	・面接試験に必要な作法、適切な	で受り	†答えが身に付くこと。						
		・出席率:70% 成績評価の 方法と基準 ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験60点、 出席率20点、授業態度20点の割合を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席								
必要な字修 ・課題、レホートは期日までに作成して提出する。	授業時間以外に 必要な学修									
履修に当たって の留意点 授業態度点は、欠席、授業中の私語や居眠り、机上の整理や言葉遣い、授業に取り 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は本校の基準を満たす必要がある。										

科目	目名	ビジネス	ス教養	英文名	Bus	iness	Skill	.S			1-21	
担当	当者	茗荷翔ス	太	2 2	#	選択 必修	必修	科目 区分	一般科目	・演習		
開請		通年	前期: 1時間(回数	: 15 回)	後期: 1時間(回数:15回) 授業時数 30時間							
教 教	材 具	基礎かり	う学べる!文章力ステッ	プ(日本活	漢字詞	能力検	定協会	<u>\(\) \</u>				
'			目のねらい (目的)							Latt 15 aug		
			公要とされる論理的文章 ™書作成、而接で必要な									
			コマシラバス(前期)		学を深める就職試験に向けて、基礎学力の向上を図る。 コマシラバス(後期)							
		ダンス+基礎テ			4 5 7 70 7 11 1							
1		イベートと社会 える相手のその	☆で求められる文書の違い ○目的─		1 自己 PR について							
2		: 意見を区別す			2	自己PR	の作成					
3	, , , , ,	を思い出すトレ レーンストーミ	ィーニング ミングの活用—		3	自己PR	の発表					
4			:+意見の基本形―		4	志望動標	幾について					
5	意見文	で書く			5	志望動標	幾の作成					
6	意見文	てを書く一採点	と好事例の共有―		6	履歴書	こついて					
7	前期「	中間考査			7 後期中間考査							
8	手紙文	ての基本形一基	本ルールの確認―		8	履歴書の	り作成					
9	手紙文	ての基本形一形	の確認と成作―		9	履歴書(り作成					
10	段落0)役割を捉える			10	面接試馴	倹について					
11)要旨を捉える			11 面接練習							
12			い情報を抜き出す ①		12 面接練習							
13			い情報を抜き出す ②		13	一般教						
14	問題演				14	一般教						
		期末考査	ナキ松 4 切 の明時年 ナ 甘 2 1	マ	15 学年末考査							
	授業 業の	方法 進め方)	文章検4級の問題集を基にし 自己理解を深め、自己PR、志 就職試験に向けた面接練習、	望動機の作品	戈を行い	ハ、履歴		 成する				
			文章検(文書読解・作成能力	検定)4級に	みあう	文章力		・読解力)	を習得する	ること		
			・文書を作成する際に、事実 ・事実を根拠として自ら意見				_					
,	到達	目標	・「事実と意見の2段落構成で ・段落の概念を理解すること		ポート)を作り	成」する	ことができ	る			
	- 1.~_		・グラフや表を理解し、正し	い情報を抜き								
自分のアピールポイントをまとめ、自己 PR が作成できる 希望職種を想定した履歴書の作成ができる								0)				
			面接のマナー、正しい受け答 前期:(中間試験+期末試験					 巨力のスキル	/アップ)			
		呼価の	後期:・出席率:70%	 	Je pr	I + A-	₩ 1. -	z alta le na	/ →#a⇒4	FA co E III	<u> </u>	
). 	け去と	:基準	・成績の評価割合:100点 授業態度20点の割合を標									
授業	羊時間	別外に	・授業予定に合わせて、問	問題集の反復	ぼによ	る予習	復習る					
业	公要な	2学修	・自宅学習による授業ごと・課題、レポートは期日				る 					
履化	冬に当	áたって	授業態度点は、欠席、								に取り組	
	の留意点 む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は本校の基準を満たす必要がある。											
			よに、田帰剱は平位の		こりり	ひ安か	める。					

※授業の1単位時間は45分とする 科目名 測量に関する法規 英文名 Law of Survey 2-1科目 実務経験 選択 担当者 大塚普久 無 必修 専門科目・講義 必修 区分 の有無 開講期 前期 前期: 2 時間 (回数:15回) 後期: 時間(回数: 回) 授業時数 30 時間 教材 改訂2版基礎測量学(電気書院)、測量士測量士補国家試験受験テキスト(公益社団法人 日本測量協会) 教具

【学修内容】科目のねらい(目的)

測量法の解説の中で測量法施行令、測量法施行規則を引用し、測量士として、法律理解を深めることを目的とする。

			I	
【挖	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)
1	測量法 総則		1	
2	基本測量		2	
3	基本測量		3	
4	公共測量		4	
5	測量士及び測量士補		5	
6	測量業者		6	
7	罰則		7	
8	作業規程前期中	中間考査	8	
9	測量に関する法規((過去問)	9	
10	測量作業上の注意事	項	10	
11	測量士補過去問題		11	
12	測量士補過去問題		12	
13	測量士補過去問題		13	
14	測量士補過去問題		14	
15	前期期末考査		15	
	授業方法 業の進め方)	授業は講義形式で行い、測量法を	を順為	欠詳説する。
	到達目標	測量法の定めによる権利と義務、 し、申請・届出等の処理の方法を		情・届出の測量法の定めによる権利と義務を理解 解できる。
	戈績評価の 方法と基準	0 点以上を合格とする。満点は、定期試験 70 点、 理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計 49 点		
	巻時間以外に 必要な学修	・自宅学習による授業ごとの予報 ・課題、レポートは期日までに付		
	多に当たって の留意点	む積極的な姿勢があるかどうかれ	などの	り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り組 の平素の行動を評価するものである。 役校としての基準(100%)を満たす必要がある。

科目名	測量に関	関する数学Ⅱ	英文名	Mathemat	icsⅡ				2-2
担当者	澁谷勝七	<u>h</u>	実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義
開講期	通年	前期: 2時間(回数	: 15 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	60 時間
教材 教具	高専の数	数学2(森北出版㈱)							

【学修内容】科目のねらい(目的)

数学は測量や土木関係の専門分野で活用できる能力が求められる。2 年次では特に工学系で使用頻度 の高い微分・積分の理解を深め、その活用応用能力を養うことを目的とする。

【挖	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)						
1	関数とグラフ		1	微分法						
2	べき関数 分数関数		2	整式の導関数						
3	無理関数、逆関数		3	関数の極限値、導関数・導関数の計算						
4	指数関数		4	接線と速度						
5	累乗と累乗根、指数	なの拡張	5	関数の増減						
6	対数関数		6	関数の増加・減少、関数の最大値・最小値、いろいろな変化率						
7	対数、対数関数		7	導関数の応用						
8	前期中間考査		8	関数の増減と極大・極小、接線・法線と近似値、速度・加速度						
9	点と直線		9	後期中間考査						
10	直線の方程式		10	積分法・不定積分						
11	円と2字曲線		11	不定積分、いろんな関数の不定積分						
12	図形の性質		12	定積分						
13	3角形と比、円と角	İ	13	定積分の応用						
14	3角形の5心		14							
15	前期期末考査		15	後期期末考査						
	授業方法 業の進め方)			で行い、演習問題を多く取り入れ対話型の授業と める。併せてコミュニケーション能力育成にも配						
	到達目標	数学の基礎知識が確実に身に付え	<u>₹</u> , <u>I</u>	専門科目の中で活用応用できる。						
	・出席率:100% 成績評価の 方法と基準 ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験70点、 授業態度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計49点 以下とする。この場合、補習必要。									
	受業時間以外に ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。 ・課題、レポートは期日までに作成して提出する。									
	多に当たって の留意点	組む積極的な姿勢があるかどうな	かなる	民り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り どの平素の行動を評価するものである。 投校としての基準(100%)を満たす必要がある。						

※授業の1単位時間は45分とする

						※授業	フェ単位	時間は 45 /	がとする	
科目名	三角測量		英文名	Tri	angu	l a t i	o n		2-3	
担当者	宮近淳-		実務経験 の有無	有	選択必修	必修	科目区分	専門科目	・講義	
開講期	前期	前期: 2時間(回数:	15 回)	後期:	時間	(回数:	回)	授業時数	30 時間	
教材		L 量(測量専門教育センタ							: (電気書	
教具	院)、測	量士・測量士補国家試験	験受験テキ	トスト (公益社団	法人 日	本測量	協会)		
担当者 の実務 経験	宮近淳-	-:測量設計会社にて多 土地家屋調査士事務					調査			
【学修		目のねらい (目的)								
	従来の三角法による三角測量の基本的な考え方、作業の方法、作業工程の流れを学び、計算処理ができるようになることを目的とする。									
		_ こそ 日的こ y る。 コマシラバス(前 期)			コ	マシラノ	マス (後	期)		
	測量の概要	— () / / (Bil 391)		1		• • • • •		231)		
	_{則里の恢安} 形の開放(正弦	- 宁祖/		2						
	ルの無双(正型 線の計算(座標			3						
	隊の計算(座標 形の組成とその			4						
5 高低		7可异伍		5						
	可昇 及び高低の計算	冷羽		6						
	明中間考査	·供自	7							
	新平1町~5~1111 補正計算(正弦	8								
	開止計算(正元 補正計算(2辺		9							
	mエロティンと の偏心の補正力	,		10						
	グ幅心が無正力 と観測の偏心の			11						
12 相互		/間上刀仏		12						
13 高低				13						
14 気差				14						
	明期末考査			15						
				<u> </u>						
授業方法 授業は講義形式で行い、三角測量の作業 (授業の進め方) 行う。						び、取行	导したデ	一タより計	算処理を	
到達目標 三角法による解法が理解でき、それに基づいた計算							ができる	こと。		
・出席率:100%・成績評価の・成績の評価割合:100点満点で 授業態度30点の割合を標準とす 以下とする。この場合、補習必要										
	間以外に な学修	・自宅学習による授業・課題、レポートは期								
履修に当たって の留意点 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものであ また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす							のである。			

学科名 (測量環境工学科) ※授業の1単位時間は45分とする

科目名	汎地球測	則位シスラ	ーム測量	英文名	Global	Positio	ning Sys	stem		2-4
担当者	宮近淳-			実務経験 の有無	有	選択必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義
開講期	後期	前期:	時間(回数	: 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	30 時間
教材 教具			厚門教育センタ 捕国家試験受験							
担当者 の実務 経験	宮近淳-		設計会社にて多 ₹屋調査士事務					周査		

【学修内容】科目のねらい(目的)

本専門学校の測量環境工学科では、GPS を測量や土木関係の専門分野で利用できる能力が求められる。 したがって、GPS の基本事項、基準点測量、リアルタイム・キネマテック法による測量、および、GPS に 関する通信技術などの理解を深め、その活用能力を養うことを目的とする。

関す	•	などの理解を深め、その活用能力を						
【授	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)				
1			1	GPS の概要(構成・衛星・電波信号)軌道				
2			2	情報・受信機の機構・座標系				
3			3	標高と楕円体高・単独測位				
4			4	衛星配置と測位、精度誤差要因・ディファレンシャル測位				
5			5	干渉測位・整数値バイアス				
6			6	二重位相差と誤差消去 後期中間考査				
7			7	整数値バイアスの決定法・衛星移動~オン・ザ・フライ				
8			8	GPS 測量の概要・特色・スタティック測位				
9			9	キネマティック測位・GPS 測量の制約条件				
10			10	観測計画(衛星の運行・留意点)				
11			11	測量網の構成・セッション計画				
12	12 観測とデータ処理・解析結果・点検計算							
13 仮定網・実用網・GPS の応用								
14			14	GPS に関する通信技術など				
15			15	後期期末考査				
	授業方法 業の進め方)	授業は実習作業形式で行い、スタ	アティ	ィック方式の GPS 観測を実習し、計算処理をする。				
;	到達目標	作業規程によるところの、観測養う。	• 計算	算が出来るようになる。社会で応用できる力を				
	・出席率:100% 成績評価の 方法と基準 ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験70点、 授業態度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計49点 以下とする。この場合、補習必要。							
	美時間以外に 公要な学修	・自宅学習による授業ごとの予報 ・課題、レポートは期日までに付						
-	授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす必要がある。							

学科名 (測量環境工学科) ※授業の1単位時間は45分とする

						<u></u> √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √ √	7 T T 15.	101 P110 TO	$\mathcal{F}_{\mathcal{F}}$
科目名	写真測量	<u>.</u> L	英文名	Photogr	aphic s	urveying	g		2-5
担当者	茗荷翔	<u></u>	実務経験 の有無	無	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義
開講期	通年	前期: 2時間(回数	: 15 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	60 時間
教材 教具		・測量士補国家試験受易仮基礎測量学(電気書院		(公益社	団法人	日本測量	量協会)、		

【学修内容】科目のねらい(目的)

本科目は、国土地理院の測量士補養成登録施設校として要求されるカリキュラムの一つで、写真測量の歴史と理論を理解し、地形図の作製や、リモートセンシングについて理解を深めることを目的とする。

2 空中享の撮影 3 空中写真の撮影 4 単写真の機影 4 単写真の機影 5 視差能による測定 6 視差能による測定 6 視差能による測定 7 隔無中間考園 8 前期中間考査の結束と解説。 9 実際のカノラ 10 カメコン効果 11 解析写真測量 12 リモートセンシング 11 解析写真測量 12 リモートセンシング 13 解析写真測量 14 空中三角測量 15 隔無無末着 投業方法(授業の進め方) 到達目標 成績評価の方法と基準 成績評価の方法と基準 成績評価の方法と基準 成績評価の方法と基準 成績評価の方法と基準 長寒時間以外に ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。	【挖	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)			
3	1	写真測量の概要		1	前期期末考査の結果の解説。			
4 単写真の幾何学的性質 4 デジタルマッピング 5 デジタルマッピング 6 規差定よる測定 6 規差による測定 7 阿那中間考型 7 写真判監 8 前界中間考型 7 写真判監 8 前界中間考査の結果と解説。 9 実際のカメラ 9 接瀬中間考型 10 リモートセンシング 11 解析写真剛置 11 リモートセンシング 11 解析写真剛置 12 リモートセンシング 12 解析写真剛置 13 リモートセンシング 15 摩案考型 15 摩案等型 16 原数 16	2	空中写真の撮影		2	写真測量による地図作成の工程			
5視差差による測定5デジタルマッピング7胸卵中間を型7写真判蔵8前期中間を重の結果と解説。8写真判蔵9実際のカメラ9腰卵甲門を型10カメロン効果10リモートセンジング11解析写真測量11リモートセンジング12解析写真測量12リモートセンジング13解析写真測量14リモートセンジング14空中三角測量14リモートセンジング15摩薬考型授業方法 (授業の進め方)授業は、講義形式で行うが、演習問題を多く取り入れながら、確実な定着を図る。 もに、Man to man teaching やプレゼンテーションの仕方なども合わせて行い、コニケーション能力の育成にも役立てる。到達目標写真測量の基礎知識を確実に身に付け、その理論を理解することおよびリモート・シングの判読の基礎を身につける。・出席率:100% ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験70授業修度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計4以下とする。この場合、補習必要。授業時間以外に・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。	3	空中写真の撮影		3	デジタルマッピング			
6	4	単写真の幾何学的性	質	4	デジタルマッピング			
7	5	視差差による測定		5	デジタルマッピング			
8 前期中間考査の結果と解説。 9 実際のカメラ 10 カメロン効果 11 解析写真測量 12 解析写真測量 13 解析写真測量 14 空中三角測量 15 簡類期末考到 授業方法 (授業の進め方) 到達目標 「受験力を確します。」 「受験力を確します。」 「受験者の記録と解説。 「受験者の記録と解説。 「受験者の記録と解説。 「おります。」 「おりまする。」 「まりまする。」 「はりまする。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。。	6	視差差による測定		6	デジタルマッピング			
9実際のカメラ9優期中間考園10カメロン効果10リモートセンシング11解析写真測量11リモートセンシング12解析写真測量12リモートセンシング14空中三角測量14リモートセンシング15順期末本園15座業本園授業方法 (授業の進め方)授業は、講義形式で行うが、演習問題を多く取り入れながら、確実な定着を図るされた。 地に、Man to man teaching やプレゼンテーションの仕方なども合わせて行い、コニケーション能力の育成にも役立てる。財達目標写真測量の基礎知識を確実に身に付け、その理論を理解することおよびリモート・シングの判読の基礎を身につける。成績評価の方法と基準・出席率:100% ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験70授業態度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計4以下とする。この場合、補習必要。授業時間以外に・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。	7	前期中間考査		7	写真判読			
10 カメロン効果 11 解析写真測量 12 解析写真測量 13 解析写真測量 14 空中三角測量 15 順票無未替 16 関業方法 (授業の進め方) 17 対策・の判験の表にも役立てる。 18 対策・の判験の表にも役立である。 19 対策・の判験の表にも役立である。 おに、Man to man teaching やプレゼンテーションの仕方なども合わせて行い、コニケーション能力の育成にも役立でる。 19 連目標 2 与真測量の基礎知識を確実に身に付け、その理論を理解することおよびリモート・シングの判読の基礎を身につける。 ・出席率:100% ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験70授業態度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計4以下とする。この場合、補習必要。 ・日宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。	8	前期中間考査の結果	と解説。	8	写真判読			
11 解析写真測量 12 解析写真測量 12 リモートセンシング リモートセンシング リモートセンシング リモートセンシング リモートセンシング リモートセンシング [新興無本者] 13 リモートセンシング [本業者] 14 リモートセンシング [本業者] 15 解析写真測量 15 解析写真測量 15 解析書画 16 解析書画 16 解析書画 16 解析書画 17 解析書	9	実際のカメラ		9	後期中間考査。			
12 解析写真測量 12 リモートセンシング 13 リモートセンシング 14 リモートセンシング 14 リモートセンシング 15	10	カメロン効果		10	リモートセンシング			
13 解析写真側量 13 リモートセンシング 14 リモートセンシング 15 座業考園 15	11	解析写真測量		11	リモートセンシング			
14 空中三角測量 14 リモートセンシング 15 摩業考面 15	12	解析写真測量		12	リモートセンシング			
授業方法 (授業の進め方) 授業は、講義形式で行うが、演習問題を多く取り入れながら、確実な定着を図るでした。 授業の進め方 授業は、講義形式で行うが、演習問題を多く取り入れながら、確実な定着を図るでした。	13	解析写真測量		13	リモートセンシング			
授業方法 (授業の進め方) 授業は、講義形式で行うが、演習問題を多く取り入れながら、確実な定着を図る。 もに、Man to man teaching やプレゼンテーションの仕方なども合わせて行い、コニケーション能力の育成にも役立てる。 写真測量の基礎知識を確実に身に付け、その理論を理解することおよびリモート・シングの判読の基礎を身につける。 ・出席率:100% ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験70授業態度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計4以下とする。この場合、補習必要。	14	空中三角測量		リモートセンシング				
世業方法 (授業の進め方) もに、Man to man teaching やプレゼンテーションの仕方なども合わせて行い、コニケーション能力の育成にも役立てる。 写真測量の基礎知識を確実に身に付け、その理論を理解することおよびリモート・シングの判読の基礎を身につける。 ・ 出席率:100% ・ 成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験70授業態度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計4以下とする。この場合、補習必要。 ・ 自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。	15	前期期末考査		15	卒業考査			
到達日標 シングの判読の基礎を身につける。 ・出席率:100% ・成績評価の 方法と基準 ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験70 授業態度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計4以下とする。この場合、補習必要。 ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。			もに、Man to man teachingやこ	プレナ	ゼンテーションの仕方なども合わせて行い、コミ			
成績評価の 方法と基準 ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験70 授業態度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計4 以下とする。この場合、補習必要。 ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。		到達目標			ナ、その理論を理解することおよびリモートセン			
		成績評価の ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験70点、 方法と基準 授業態度30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計49点						
履修に当たって の留意点 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に関 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす必要がある。								

の留意点

学科名 (測量環境工学科)

※授業の1単位時間は45分とする

								※1文乗り	ノエキ世	時間は 45	カニタる		
科目	名	地図編集	<u> </u>	英文名	Мар	comp	ilatio	on —			2-6		
担当	省者	茗荷翔ス	k	実務経験 の有無	4	#	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目	目・講義		
開請	排	後期	後期: 時間(回数:	回)	後其	月: 3	時間	(回数:1	.5 回)	授業時数	45 時間		
教			• 測量士補国家試験受験		(公	益社団	法人	日本測量	量協会)、	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			
教:			版基礎測量学(電気書院	E)									
			目のねらい(目的) 上地理院の測量士補養成	登録施設 相	交上]	して要	求され	しるカリヨ	キュラム	の一つで、	地図の投		
影、		と平面直	重角座標、地理院の発行										
【授	業計	画]	コマシラバス(後 期)				Ξ	ロマシラバ	ベス(後	期)			
1	地図投	対影と投影法(こ	プリント)		1	前期期末	ド考査の紀	告果と解説。平	面直角座標系	系(プリント)			
2		受影と投影法(2	平面直	角座標系。	UTM 座標系と	平面直角座標	票系の対比			
3			:面を平面である地図にする方法(地: 、横メルカトール投影法)	球上の点の位置	3	国土地理	里院で発行	テしている地図	、地形図				
4			面を平面である地図にする方法(地:	球上の点の位置	4	国土基	本図						
5		上の点の位直 法(プリント)	、横メルカトール投影法)		5	後期中間	考查						
6 UTM 図法(プリント)						地図の網	-						
7							7 地形図および国土基本図の利用(路線計画、集水区域、および集水面積、貯水池の堪水面積と貯水量の計算)						
1000000000000000000000000000000000000									習問題				
9	後期中間表本の結果と解説 地形図なりが国土基本図の利用 (字地浩成丁重												
10	前期中	中間考査の結果	と解説。UTM 座標系		10		こメッシュ			メッシュをつくる			
11	前期中	間考査の結果	と解説。UTM 座標系		11	地形図	こメッシュ	をつくる(種	類と方法)((標準地域区画)			
	UTM 座				12	演習問題							
			と解説。演習問題		13	演習問題		r) /===V \-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-\-	000=				
	前期期 演習問		と解説。演習問題		14 15	l -		要と解説。演習	問題				
	授業	方法 進め方)	授業は、講義形式で行 もに、Man to man te ュニケーション能力の	achingや	プレー	ゼンテ							
į	到達目標 地図編集の知識を確実に身に付け、地図編集が的確に処理できる。												
		評価の : 基準	・出席率:100% ・成績の評価割合:10 授業態度30点の割合 以下とする。この場合	を標準とす	· る。								
		引以外に ☆学修	・自宅学習による授業・課題、レポートは期										
履修	履修に当たって 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。												

また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす必要がある。

学科名 (測量環境工学科) ※授業の1単位時間は45分とする

科目名	応用測量	<u></u> 工	英文名	Applied	Survey	7			2-7
担当者	宮近淳-	_	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義
開講期	通年	前期: 2時間(回数:	15 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	60 時間
教材 教具		量(実教出版(株))、 ・測量士補国家試験受験	テキスト	(公益社	団法人	日本測量	量協会)		
担当者 の実務 経験	宮近淳-	一:測量設計会社にて多 土地家屋調査士事務					周査		

【学修内容】科目のねらい(目的)

応用測量の分野のうち、前期は路線測量の基礎から始まり、一連の中心線設置計算ができるように、 又、後期は各種図形の面積の求め方や体積の求め方を学び工事用測量に言及することを目的とする。

【授業計画】 コマシラバス (1 路線測量について 2 曲線設置の3要素 3 曲線設置の順序、単距離と追加距離 4 曲線の3要素を求める演習 5 偏角弦長法について		1 2 3	コマシラバス (後 期) 三斜法・三辺法による面積計算 2辺夾角法による面積計算
2 曲線設置の3要素 3 曲線設置の順序、単距離と追加距離 4 曲線の3要素を求める演習		2	
3 曲線設置の順序、単距離と追加距離 4 曲線の3要素を求める演習			2辺夾角法による面積計算
4 曲線の3要素を求める演習		3	
			座標法による面積計算
□ 「 信角改長法について			デジタルプラニメーターによる面積の測定法
7,147,444,44			三斜誘致法による多角形の面積測定
6 中央縦距法			平均断面法による体積計算
7 単心曲線の一連計算			錐および錐台の体積計算
8 前期中間考査			オベリスク公式による体積計算
9 緩和曲線について		9	後期中間考査
10 クロソイド曲線について	1	10	構造物等の位置の出し方
11 クロソイド曲線の設計	1	11	法勾配、法杭の打ち方
12 単位クロソイドについて	1	12	盛土丁張りの設置
13 単位クロソイド表を用いての実数の計算演習	1	13	切土丁張りの設置
14 曲線要素の求め方	1	14	河川測量一般
15 前期期末考査	1	15	後期期末考査
	式で行い、前半は路対 則量と河川測量の一社		側量について学び、後半は面積・体積の求め方を と学ぶ。
到達目標 一連の中心線の	の計算ができ、面積	• 12	本積を求めることができる。
方法と基準 授業態度 30 点	割合:100 点満点で、	5. :) 点以上を合格とする。満点は、定期試験 70 点、 理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計 49 点
	よる授業ごとの予習、 ートは期日までに作り		
復修に当たって 取り組む積極的 の図音占	的な姿勢があるかど	うカ	民り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に いなどの平素の行動を評価するものである。 设校としての基準(100%)を満たす必要がある。

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	地籍・褚	甫償	英文名	Acreage	reage • Compensation						
担当者	宮近淳一	_	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義		
開講期	前期	前期: 2時間(回数:	15 回)	後期:	時間	(回数:	回)	授業時数	30 時間		
教材 教具		量(測量教育専門センタ 量協会)、改訂新版基礎			士補国	家試験受	験テキ	スト(公益	益社団法人		
担当者 の実務 経験	宮近淳-	宮近淳一:測量設計会社にて多角、水準、現況、用地の測量 土地家屋調査士事務所で多角、現況、境界測量、土地調査									

【学修内容】科目のねらい(目的)

補償業務の中の用地補償に関連した項目について学ぶことを目的とする。

【授業計画】	コマシラバス(前 期)	コマシラバス (後 期)						
1 用地測量の概要	(あらまし、重要性)	1						
2 ・用地買収の方法	去、引照点と復元							
3 資料調査 (登記簿	等)	3						
4 ・図面		4						
5 ・権利者		5						
6 ・地図転写		6						
7 境界確認 (境界	, , , ,	7						
8 ・公共用地及び		8						
9 前期中間考査								
10 境界測量 (測量の)精度と方法)	10						
11 ・用地境界杭	all the a TE (C)	11						
12 面積計算 (面積)		12						
	漬計算、数値三斜法による面積	13						
14 ・演習問題 15 前期期末考査	1	14 15						
10 削期期末方宜		10						
授業方法 (授業の進め方)	授業は講義形式で行い、先ず、現目を順に学ぶ。	地籍測量について学び、次に用地取得に至までの作業						
到達目標	地籍測量について理解を深め、	用地面積の求積ができ、登記の概要を理解する。						
成績評価の 方法と基準		で、60 点以上を合格とする。満点は、定期試験 60 点、 割合を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席						
授業時間以外に 必要な学修								
履修に当たって の留意点	取り組む積極的な姿勢があるか	や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に どうかなどの平素の行動を評価するものである。 録施設校としての基準(100%)を満たす必要がある。						

科目	目名	河海工	学	英文名	River and Coastal Engineering					
担当	当者	澁谷勝{	<u>11</u>	実務経験 の有無	無	選択必修	必修	科目 区分	専門科目	講義
開請	講期	前期	前期: 2時間(回数	女:15回)	後期:	時間(回	数: 回)	授業時数	30 時間
教 教		社会基礎	* 盤工学(実教出版(株	€))						
4			目のねらい(目的) 会基盤の内、河川と港	湾、海岸等	穿の施設(の構造や全	般的な概	死要につ	いて学ぶこ	とを目的
	, シ。 受業計	十画】	コマシラバス(前 ∮	期)		コー	マシラバ	ス(後	期)	
1	水と人	とのかかわり	(水の循環と治水・利水・水環境	、河川と流域)	1					
2		(災害の原因 と 高水量))	と対策、河川の治水計画(河川の流	i量、基本高水と	2					
3	治水	・・ (河川の治水計	·画(計画高水位、河川改修計画、 計画(総合的治水計画の体系))	可川工作物)、都	3					
4		(都市河川の総 抑制))	合的治水計画(都市河川の治水施	設と流域におけ	4					
5	治水	(砂防の計画)			5					
6	治水	(海岸の計画)			6					
7	前期中	『間考査の概要	と解説。演習問題		7					
8	演習問	題。前期中間	考査		8					
9			と解説。利水(降水量と水資源、 水、農業用水))	水の利用と種類	9					
10	利水	(水の利用と種	5類(発電用水、消雪・流雪用水))		10					
11	利水	(水資源の確保	k、水資源開発施設(高ダムの種類	・構造))	11					
12		(水資源開発施 類の保全))	設(取水施設、送水施設)、水資源	(の保全 (渇水対	12					
13	利水	(水資源の保全	注 (節水対策))		13					
14	利水	(水資源の保全	注 (節水対策))		14					
15	前期期	末考査			15					
	授業	方法 進め方)	授業(基礎の理解) することにより理解 慮しながら授業を行	力、応用力			_			
	到達	目標	河海工学の基礎知識	を確実に身	と付け、	、河海の施	設や構造	造役割が	適切に判断	できる。
	 ・出席率:70% ・成績の評価割合:100点満点 ・成績の評価割合:20点 ・成績の評価割合:20点 ・成績の評価割合:20点 									
		別外に よ学修	・自宅学習による授・課題、レポートは							
	多に当 の留	áたって 意点	授業態度点は、授業む積極的な姿勢があ							<u>—</u> に取り組

										, , -
科目名	土地利用	用・地形分	類調査	英文名		e Survey assifica	_	and		2-10
					Surveyi					
担当者	大塚普久	Z.		実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目区分	専門科	目・講義
開講期	後期	前期:	時間(回数	: 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	30 時間
教材 教具	測量士· (電気		国家試験受騎	食テキスト	(公益社	団法人	日本測量	は協会)、	改訂新版基	基礎測量学
担当者 の実務 経験	宮近淳一:測量設計会社にて多角、水準、現況、用地の測量 土地家屋調査士事務所で多角、現況、境界測量、土地調査									
【学体出	【学修内索】利且のわたい(目的)									

本	【学修内容】科目のねらい(目的) 本科目は、国土地理院の測量士補養成登録施設校として要求されるカリキュラムの一つで、土地利用 間査の基礎を学び、空中写真と地図との土地利用状況の照合ができよう学習することを目的とする。										
【授	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)							
1			1	土地利用調査地図のインポート							
2			2	地形分類調査地図のインポート							
3			3	土地利用調査地図の活用							
4			4	地形分類調査地図の活用							
5			5	土地利用区分分類の調査							
6			6	地形分類の調査							
7			7	後期中間考査の概要と解説。演習問題							
8			8	後期中間考査							
9			9	後期中間考査の結果と解説(土地利用区分分類の調査)							
10			10	GIS による主題図の作成							
11			11	GISによる主題図の作成							
12			12	GIS による主題図の作成							
13			13	13 GIS による主題図の作成							
14			14	後期卒業末考査の概要と解説。演習問題							
15			15	後期卒業考査							
	授業方法 業の進め方)			で行い、演習問題を多く取り入れ対話型の授業と める。併せてコミュニケーション能力育成にも配							
;	到達目標	土地利用図面の基礎知識こと。	識が確実に身	身に付き、GIS による土地利用の主題図ができる							
	対績評価の 5法と基準		0 点の割合を)点以上を合格とする。満点は、定期試験 60 点、 を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席							
	芝時間以外に 公要な学修	・自宅学習による授業ごの・課題、レポートは期日									
	をに当たって の留意点	取り組む積極的な姿勢がる	あるかどうた	民り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に いなどの平素の行動を評価するものである。 投校としての基準(100%)を満たす必要がある。							

学科名 (測量環境工学科) ※授業の1単位時間は45分とする

						70.13/0/10	- 1 1	01 20 (H) (Fig.	/ , _ / _
科目名	土木工学	学概論	英文名	Introduction to Civil Engineering					2-11
担当者	宮近淳-	_	実務経験 の有無	無 選択 必修 科目 専門科 E					目・講義
開講期	前期	前期: 2時間(回数:	15 回)	後期:	時間	(回数:	回)	授業時数	30 時間
教材 教具	社会基準	盤工学(実教出版(株)))						

【学修内容】科目のねらい(目的)

本科目は、社会基盤の構築の歴史的背景を学び、社会的基盤が人間の暮らしにどのように係わり、また、どのように発展し構築されるべきかを学ぶことを目的とする。

7.10	~ N/4 > 1 T	()/,	<u> </u>	(// ₁ ₁ ₁
【艺	1	コマシラバス(前期)		コマシラバス(後 期)
1		しとまちづくり、人やものの流れと交通	1	
2		らしとまちづくり、人やものの流れと交通	2	
3	暮らしの中の水、豊	かな国土づくり、古代、中世から近世へ	3	
4	暮らしの中の水、豊	かな国土づくり、古代、中世から近世へ	4	
5	近代、現代、未来の	土木技術	5	
6	近代、現代、未来の	土木技術	6	
7	土木技術者に望まれ	ること	7	
8	土木技術者に望まれ	ること	8	
9	前期中間考査		9	
10	国土計画		10	
11	国土計画		11	
12	社会基盤の整備		12	
13	社会基盤の整備		13	
14	前期中間考査の概要	と解説。演習問題	14	
15	前期期末考査		15	
	授業方法 業の進め方)			で行い、演習問題を多く取り入れ対話型の授業と める。併せてコミュニケーション能力育成にも配
	到達目標	土木工学の成り立ちを知り、こ 役割を判断できる。	土木	E学の人間社会に対する重要性を認識し、土木の
	対績評価の 方法と基準			O 点以上を合格とする。満点は、定期試験 60 点、 を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席
	業時間以外に 公要な学修	・自宅学習による授業ごとの予う ・課題、レポートは期日までに付		-
	多に当たって の留意点			り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り組 の平素の行動を評価するものである。

								/NJX/A**	1 + 15.	.時間は 45 欠	
科目	名力	施工管理	里法Ⅱ	英文名		nod of (agement		truction			2-12
担当	者		對	実務経験		当選	蛝	必修	科目	専門科目	講義
開講	期	前期	前期: 4時間(回数	の有無 : 15 回)	後期		修 時間	(回数:	<u>区分</u> 回)	授業時数	60 時間
教材		2 級土木	·施工管理技士試験三訂	版(実教出	出版((株))					
教 · 担当	具							^ <i>bb</i> → □ <i>bb</i>	1) - 0/ - 		
の実経り	務	浦木秀 植	謝:大手ゼネコンにて現 JR 工事、上下水道コ		_ • •				に従事	•	
			目のねらい (目的)	- 13 feb 1	(L.)		<i>f</i>		H //)	1	
本	科目(は、土木	r建設にかかる法規およ	び管理方法	去につ	ついて埋	解す	ることを	目的と	する。	
【授	業計画	画】	コマシラバス(前 期)				コ、	マシラバ	ス(後	期)	
1	労働基準	法			1						ļ
2	労働安全	全衛生法			2						
3	建設業法	、道路関係	法令		3						
4	道路関係	法令、河川	法		4						
5	河川法、	建築基準法			5						
6	火薬取締	法、騒音規	制法、振動規制法		6						
7	港則法、	前期中間考	査の概要と解説。演習問題		7						
8	演習問題	。前期中間和	考查		8						
9	前期中間	考査の結果	と解説。環境保全関係法規と対策		9						
10	環境保全	:関係法規と	対策、測量		10						
11	設計図書	F、機械、電	気		11						
12	施工計画	Í、工程管理			12						
13	安全管理	1、品質管理			13						
14	前期期末	考査の概要	と解説。演習問題		14						
15	前期期末	考査			15						
	受業方 業の進	i法 きめ方)	授業(基礎の理解)は することにより理解力 慮しながら授業を行う	、応用力を				_			
<u> </u>	到達目	標	土木施工の安全管理にきる。	関する基础		哉が確実	に身	に付き、	的確な	安全管理の	判断がで
	:績評値 法と	・出席率:70% ・成績の評価割合:10 点、出席率20点、授 い欠席時数(フロート	業態度 20 /	点の害							
	時間』	以外に 学修	・自宅学習による授業・課題、レポートは期	-				る			
	に当7 D留意	たって i点	授業態度点は、授業組む積極的な姿勢があ								業に取り

									3 HJ (00 10	/• - / ·	
科目名	鉄筋コン	/クリートエ	- 学	英文名	Reinfor		Co	ncrete		2-13	
ТТН	25/1/1/1		→ 1	人人口	Enginee	ring				2 10	
担当者	山村憲章	章		実務経験 の有無	無	選択 必修	必修 科目 区分		専門科	目・講義	
開講期	通年	前期: 2	: 15 回)	後期:	2 時間	(回数:	60 時間				
教材 教具	土木構造	木構造設計 (実教出版㈱))									
担当者 の実務 経験		山村憲章:上水道施設工事(浄水場施設、土木、建築、管工事、電気含む)の施工管理 土木・建築工事(一般土木、建築、管工事、電気含む)の施工管理 土木調査測量設計コンサルタントにて調査・設計・施工管理									
	/ *H/*J	五以1五以1	v //·/ v	1 (C C P/N)	E WH	76 <u> </u>	·				

【学修内容】科目のねらい(目的)

1年次で学習した応用力学を基礎として、鉄筋コンクリート柱や単鉄筋長方形梁の設計方法さらに、 プレスレストコンクリート構造物の設計や基礎および擁壁の設計の基本についても学び理解を深める

【挖	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後期)					
1	「鉄筋コンクリート工	学」の平成22年度教育計画の説明、土木構造物の概略	1	単鉄筋長方形梁の構造					
2	構造物の概略	②土木構造物の設計、2土木構造物の材料とその扱い	2	単鉄筋長方形梁に生じる応力の計算と照査					
3	コンクリート	、材料(セメント、骨材等)	3	せん断応力の計算と照査、付着応力の計算と照査					
4	コンクリート	、材料(鉄筋コンクリート)	4	有効高さ、必要鉄筋量の計算とかぶり、あきの構造上の規定の説明					
5	設計に用いる	5主な荷重	5	有効高さ・必要鉄筋量の計算とかぶり・あきの構造上の規定の判定の演					
6	床版・床組お。	よび主げたを設計する場合の活荷重	6	最大斜め引張鉄筋の計算と必要性の判定					
7	衝擊荷重、濱	[習問題(前期中間考査前)	7	スターラップの配置、折曲げ鉄筋の配置					
8	前期中間考査		8	総合演習課題(各自データを変えて設計計算)					
9	鉄筋コンクリー	ト柱の設計(設計手順、載荷重の計算)	9	後期中間考査					
10	鉄筋コンクリート	柱の設計(断面仮定と構造上の規定の判定)	10	鉄筋コンクリート T 型梁の設計					
11	橋脚の構造と	: 断面仮定および規定	11	鉄筋コンクリートT型梁の設計					
12	らせん鉄筋柱	まと照査 と照査	12	鉄筋コンクリートT型梁の設計					
13	鉄筋コンクリ	ート構造物の積算	13	PC 構造物、PC の特徴、構造物の例					
14	鉄筋コンクリ	ート長方形梁の設計、設計方法	14	使用される構造材料、演習問題、PC 構造物の設計手順、規定の判定					
15	前期期末考査		15	後期期末考査					
	授業方法 業の進め方)	·		で行い、演習問題を多く取り入れ対話型の授業とめる。併せてコミュニケーション能力育成にも配					
	到達目標	鉄筋コンクリート構造物の基本 び、将来、現場での設計に応用 [*]		構造および設計に対する考え方や設計方法を学る基礎的な知識を身に付ける。					
	戈績評価の 5法と基準			0 点以上を合格とする。満点は、定期試験 60 点、 を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席					
,	巻時間以外に 必要な学修	复習を心掛ける して提出する							
	履修に当たって の留意点 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取り 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は本校の基準を満たす必要がある。								

※授業の										り1単位	時間は 45	分とする
科目]名	交通工学	学		英文名	Tran	sport	ation	Engine	ering		2-14
担	当者	茗荷翔之	太		実務経験 の有無	無	H:	選択 必修	必修	科目区分	専門科	目・講義
開詞		前期	前期:	2 時間(回数	: 15 回)	後期	:	時間	(回数:	回)	授業時数	30 時
	材	社会基礎	上 監工学 ()									
	(具 学修内	容】科目	目のねらい	ヽ (目的)								
		は、社会	会基盤のロ	中でも交通にか	かる施設	を中心	にその	の機能	と構造に	こついて	学ぶことを	:目的とす
る。												
【挖	受業計	-画】	コマシラ	バス (前 期)				コ	マシラハ	ヾス(後	期)	
1		運輸のあらま 送体系の整備		展と輸送の増大、交通需	要と輸送機関、	1						
2			<i>)</i> もし(交通計画	のたてかた)		2						
3	道路(道路機能、道	路の計画			3						
4	道路(道路の設計(設計の手順、	道路の横断面の構成、道	道路の線形))	4						
5				、道路の関連施設)		5						
6	鉄道(備)	鉄道の機能、	鉄道の種類、鋭	共道の計画、鉄道の施設	• 設備(線路設	6						
7		題。前期中間	考査		7							
8	前期中		路設備、停車場	8								
9	港湾(港湾の機能、	港湾の種類、	港湾の計画、港湾の施設	段・設備)	9						
10	港湾(新しい港湾)、	空港			10						
11				路、都市鉄道と新交通ジ		11						
12	1-1	:通施設(都市 環境対策)	交通施設の結算	節点施設)、交通運輸の	環境対策(道路	12						
13		輸の環境対策	: (空港周辺の理	環境対策、鉄道の騒音対	策、交通バリア	13						
14	前期期	末考査の概要	と解説。演習	問題		14						
15	前期期	末考査				15						
	授業	方法 進め方)	すること	基礎の理解)は こにより理解力 びら授業を行う	、応用力							
到達目標 交通工学の基礎知識が確実に							、社会	会基盤	紫の意義な	が理解で	きる。	
	 ・出席率:70% 成績評価の 方法と基準 ・成績の評価割合:100点満点 出席率20点、授業態度20点 時数(フロート時間)とする。 											
		引以外に :学修		学習による授業 レポートは期								
履修に当たって の留意点 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。												

また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす必要がある。

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	橋梁工	橋梁工学				Bridge 1	Enginee	ring			2-15
担当者	山村憲章				実務経験 の有無	無	無 選択 必修 科目 専門科 必修				目・講義
開講期	通年 前期: 2時間(回数				: 15 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	60 時間
教材 教具	土木構造	土木構造設計(実教出版㈱)									

【学修内容】科目のねらい(目的)

土木関係では、構造物の中でも代表的な橋梁についてその構造物の工学的な分野の理解を深めることを目的とする。

【極業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)				
1 十木構造設計		1 日型鋼を用いた道路橋の設計					
1 上个件担敌司	「いめらまし	_					
2 土木構造物の		2	メントの計算				
3 土木構造物の)設計	3	主げた断面の設計とせん断応力、曲げ応力の照査				
4 鋼材		4	補剛材の設計と圧縮応力の照査				
5 鋼材		5	補剛材の設計の演習課題				
6 コンクリート	、材料	6	補剛材の圧縮応力の演習課題				
7 コンクリート	·材料	7	H型鋼の総合演習				
8 荷重の種類。	前期中間考査	8	後期中間考査				
9 死荷重		9	プレートガーダー橋の設計(特徴、設計手順、荷重)				
10 活荷重		10	死荷重によるせん断力および曲げモーメントの計算				
11 衝擊荷重		11	活荷重によるせん断力および曲げモーメントの計算				
12 鋼材の加工		12	主げた中央断面の設計と照査				
13 溶接接合		13	連結部におけるボルトの配置				
14 ボルト接合		14	フランジ継手、腹板継手の考え方と設計計算				
15 前期期末考査		15	後期期末考査				
授業方法 (授業の進め方)			で行い、演習問題を多く取り入れ対話型の授業と める。併せてコミュニケーション能力育成にも配				
到達目標	1年次で学習した応用力学を基礎を学び、社会で応用できる力を表		鋼橋(H 型橋、プレートガーダー橋)の設計方法				
成績評価の 方法と基準		•	0 点以上を合格とする。満点は、定期試験 60 点、 を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席				
授業時間以外に 必要な学修 ・ 自宅学習による授業ごとの予習・復習を心掛ける ・ 課題、レポートは期日までに作成して提出する							
履修に当たって の留意点							

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	管工事Ⅱ			英文名	Tube con	Tube construction ${ m I\hspace{1em}I}$					
担当者	蒲木秀樹 実務経験 の有無				有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・講義	
開講期	前期	前期:	2時間(回数	: 15 回)	後期:	時間	(回数:	回)	授業時数	30 時間	
教材 教具											
担当者 の実務 経験	蒲木秀村	蒲木秀樹:大手ゼネコンにて現場施工管理、労務管理、安全管理等に従事 JR 工事、上下水道工事、造成工事、道路工事等									

【学修内容】科目のねらい(目的)

本科目は、2級管工事管理技術検定(学科試験)にかかる基礎知識について理解することを目的とす る。過去問共。

【極來到單】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)		
	. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	-	ニュー・コマシラバス(後 期) 		
1 受験案内、- 2 電気・建築	^一 版基礎	$\begin{array}{c c} 1 \\ 2 \end{array}$			
2 电风·建築 3 空気調和		3			
4 換気・排煙		4			
5 上・下水道		5			
6 給水・給湯		6			
7 排水・通気		7			
	受備に関する知識。 前期中間考査。	8			
	の結果と解説。設計時に関する知識	9			
10 施工・工程管		10			
11 品質・安全管	管理	11			
12 器機の据付		12			
13 ダクト		13			
14 法規		14			
15 前期学年末考	査	15			
授業方法 (授業の進め方)	で行い、演習問題を多く取り入れ対話型の授業とめる。併せてコミュニケーション能力育成にも配				
到達目標	管工事にかかる基礎知識を確実しの概要を把握できる。	こ身に	こ付け、工事全般に亘って広い知識をもち管工事		
成績評価の 方法と基準		0 点以上を合格とする。満点は、定期試験 60 点、 を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席			
授業時間以外に 必要な学修	・自宅学習による授業ごとの予・課題、レポートは期日までに				
履修に当たって 授業態度点は、授業中の私語や居眠り、スマホ、机上整理や言葉使い、授業に取りの留意点 組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。					

学科名 (測量環境工学科) ※授業の1単位時間は45分とする

	1		1	1			/•\\]\/\/\·	7 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	.時间は 45 %	7, 0
科目名	三角測量	量実習	英文名	Tri	angula	ation 1	Practic	Э		2-17
担当者	宮近淳-	一・茗荷翔太	実務経験 の有無	7	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科目	1・実習
開講期	後期	前期: 時間(回数	: 回)	後其	月: 2	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	30 時間
教材 教具	セオドラ	ライト、TS、三脚、ミラ	・一、その何	也 (f	寸属品	、コン	ベックン	ス等)	<u> </u>	
担当者 の実務 経験	宮近淳-	- : 測量設計会社にて多 土地家屋調査士事務						周査		
【学修内		目のねらい(目的) D三角測量の観測作業エ	[程の流れ]	夕でだ、	計算	<u></u> 処理に	.ついてヨ	単解する	ことを目的	たする。
【授業記		コマシラバス(前期)			PT OF		マシラノ			, , ,
1				1	北ゴルフ		て観測実習(機器の設置・	・据付けの復習)	
2				2	北ゴルフ	'実習場に'	て観測実習(機器の設置・	・各部位の役割の	確認)
3				3	北ゴルフ	'実習場に'	て観測実習(各路線の水平	平、鉛直観測作業)
4				4	北ゴルフ	'実習場に	て観測実習(各路線の水平	区、鉛直観測作業)
5				5	北ゴルフ	'実習場に'	て観測実習(各路線の水平	P、鉛直観測作業)
6			6	北ゴルフ	'実習場に'	て観測実習(各路線の水平	P、鉛直観測作業)	
7				7	北ゴルフ	'実習場に	て観測実習(各路線の水平	区、鉛直観測作業)
8				8 北ゴルフ実習場にて観測実習(各路線の水平、鉛直観測作業)						
9			9	北ゴルフ	'実習場に	て観測実習(各路線の水平	区、鉛直観測作業)	
10				10	北ゴルフ	'実習場に	て観測実習(各路線の水平	P、鉛直観測作業)
11				11	北ゴルフ	'実習場に	て観測実習(各路線の水平	P、鉛直観測作業)
12				12	北ゴルフ	'実習場に'	て観測実習(各路線の水平	P、鉛直観測作業)
13				13	北ゴルフ	'実習場に'	て観測実習(各路線の水平	P、鉛直観測作業)
14				14	手簿整理	!・偏心補〕	正計算(手計	算にてデータ	7整理)	
15				15	座標概算	· 厳密網 ⁵	平均計算(手	計算及びコン	/ピュータによる	データ整理)
授業 (授業の	方法 進め方)	授業は実習作業形式で処理をする。	行い、多か	角測量	量方式`	での測	角、測路	巨、偏心	観測を実習	引し、計算
到達	目標	作業規程によるところ 様になること。	の、2級を	基準 点	点測量(の観測	・計算及	及び工程	の流れが理	2解できる
	・出席率:100% ・成績の評価割合:100 点満点で、60 点以上を合格とする。満点は、実習実効性 70 点、 法と基準 成果品30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計49点以 下とする。この場合、補習必要。									
	・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。 ・課題、レポートは期日までに作成して提出する。									
履修に当の留	当たって 意 点	授業態度点は、授業 組む積極的な姿勢があ また、出席数は測量士	るかどうだ	かなと	ごの平	素の行	動を評価		のである。	

科目名	汎地球測	側位シスラ	一ム測量実習	英文名	Global practio		ioning	System		2-18
担当者	宮近淳一	一・茗荷羚	別太	実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・実習
開講期	後期	前期:	時間(回数	: 回)	後期:	2 時間	(回数:	15 回)	授業時数	30 時間
教材 教具	GPS 測量器、その他(付属品、コンベックス等)									
担当者 の実務 経験	宮近淳-		と計会社にて多 で屋調査士事務					調査		

【学修内容】科目のねらい(目的)

本専門学校の測量環境工学科では、GPS を測量や土木関係の専門分野で利用できる能力が求められる。 したがって、GPS の基本事項、基準点測量、リアルタイム・キネマテック法による測量、および、GPS に 関する通信技術などの理解を深め、その活用能力を養うことを目的とする。

【授業計画】	コマシラバス(前 期)	コマシラバス(後 期)						
1		1	GPS 機器の取り扱い・初期データの取得、説明					
2		2	測量実習場(北ゴルフ)にて観測実習(基準点の平面的位置の測定)					
3		3	測量実習場(北ゴルフ)にて観測実習(基準点の平面的位置の測定)					
4		4	測量実習場(北ゴルフ)にて観測実習(基準点の平面的位置の測定)					
5		5	測量実習場(北ゴルフ)にて観測実習(基準点の平面的位置の測定)					
6		6	測量実習場(北ゴルフ)にて観測実習(基準点の平面的位置の測定)					
7		7	測量実習場(北ゴルフ)にて観測実習(基準点の平面的位置の測定)					
8		8	測量実習場(北ゴルフ)にて観測実習(基準点の平面的位置の測定)					
9		9	測量実習場(北ゴルフ)にて観測実習(基準点の平面的位置の測定)					
10		10	測量実習場(北ゴルフ)にて観測実習(基準点の平面的位置の測定)					
11		11	測量実習場(北ゴルフ)にて観測実習(基準点の平面的位置の測定)					
12		12	測量実習場(北ゴルフ)にて観測実習(基準点の平面的位置の測定)					
13		13	観測とデータ処理・解析・点検計算					
14		14	観測とデータ処理・解析・点検計算					
15		15	観測とデータ処理・解析・点検計算					
授業方法 (授業の進め方)	授業は実習作業形式で行い、現場	地での	の作業終了後、室内にてデータ処理を行う。					
到達目標	作業規程によるところの、観測 養う。	• 計算	算が出来るようになる。社会で応用できる力を					
成績評価の 方法と基準								
授業時間以外に 必要な学修	217 117 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2							
履修に当たって の留意点	************************************							

岡山科学技術専門学校 学科名(測量環境工学科) ※授業の1単位時間は45分とする

科目名写真測量実習英文名Photographic surveying practice担当者大塚普久・茗荷翔太実務経験 の有無無選択 必修必修科目 区分専門科目・	2-19							
	↔ चच							
	夫省							
開講期 通年 前期: 2 時間(回数:15 回) 後期: 2 時間(回数:15 回) 授業時数	60 時間							
教材 教具 パソコン、立体視鏡、デジタルカメラ、その他	パソコン、立体視鏡、デジタルカメラ、その他							

【学修内容】科目のねらい(目的)

本科目は、国土地理院の測量士補養成登録施設校として要求されるカリキュラムの一つで、図化機の 標定と地図作成、岡山市地図模型図の作成、立体視鏡によるリモートセンシング実習、岡山市地図模型 データ化、岡山市地図模型の 3D 化、蒜山空中写真測量 3D 化、ドローン撮影 3D 化を行うことを目的と

する	する。									
【挖	受業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)						
1	図化機の標定と地図	1作成	1	岡山市地図模型データ化、ドローン撮影 3D 化						
2	図化機の標定と地図	作成	2	岡山市地図模型データ化、ドローン撮影 3D 化						
3	図化機の標定と地図	1作成	3	岡山市地図模型の 3D 化、ドローン撮影 3D 化						
4	図化機の標定と地図	1作成	4	岡山市地図模型の 3D 化、ドローン撮影 3D 化						
5	立体視鏡によるリモ	ートセンシング実習	5	岡山市地図模型データ化、ドローン撮影 3D 化						
6	立体視鏡によるリモ	ートセンシング実習	6	岡山市地図模型データ化、ドローン撮影 3D 化						
7	立体視鏡によるリモ	ートセンシング実習	7	岡山市地図模型の 3D 化、ドローン撮影 3D 化						
8	立体視鏡によるリモ	ートセンシング実習	8	岡山市地図模型の 3D 化、ドローン撮影 3D 化						
9	岡山市地図模型図 <i>0</i>	作成	9	蒜山の空中写真測量 3D 化、ドローン撮影 3D 化						
10	岡山市地図模型図の	作成	10	蒜山の空中写真測量 3D 化、ドローン撮影 3D 化						
11	岡山市地図模型図 <i>0</i>	作成	11	蒜山の空中写真測量 3D 化、ドローン撮影 3D 化						
12	岡山市地図模型図の	作成	12	蒜山の空中写真測量 3D 化、ドローン撮影 3D 化						
13	岡山市地図模型図の	作成	13	蒜山の空中写真測量 3D 化、ドローン撮影 3D 化						
14	岡山市地図模型図の	作成	14	蒜山の空中写真測量 3D 化、ドローン撮影 3D 化						
15	岡山市地図模型図 <i>0</i>	作成	15	蒜山の空中写真測量 3D 化、ドローン撮影 3D 化						
	授業方法 業の進め方)	岡山市地図模型図の作成								
	到達目標	写真測量の技術力が確実に身に トセンシングの基礎技術が身に		也形測量図の成果品が作成できる。およびリモー こと。						
	・出席率:100% 成績評価の 方法と基準 成果品30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計49点 下とする。この場合、補習必要。									
授業時間以外に ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。 ・課題、レポートは期日までに作成して提出する。										
履修に当たって の留意点 実習態度点は、実習中の勝手な単独行為、言葉使い、スマホ、実習に取 積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす必要										

※授業の1単位時間は45分とする

								70(1)	· 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	01 WITH 15.17	<i>)</i>
科目名	地図編集実習					Map con	mpilatio	2-20			
担当者	大塚普久・茗荷翔太 実務経験の有無				実務経験 の有無	有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・実習
開講期	後期	後期:	時間(回	回)	後期:	3時間	(回数:1	5回)	授業時数	45 時間	
教材 教具	国土地理院 HP										
担当者 の実務 経験											
【学修月		目のねらい	、(目的)								

本科目は、国土地理院の測量士補養成登録施設校として要求されるカリキュラムの一つで、地図の編 集の実習を行う。また、地図記号などの基本製図から、地形図の編集までの一連作業を行う。国土地理 院の HP にアクセスし地図の内容を理解し GIS の体験を行うことを目的とする。

	が、 III (C) / C/ ひ起因・パイセを発作し 010 ・パート で で ロ ロ フ で で ロ ロ フ で で ロ ロ フ で の 。								
【抄	受業計画】	コマシラバス(後期)		コマシラバス (後 期)					
1	地図記号の製図 (図	解テキスト地形図 S=1/25000 用の記号)	1	国土地理院 GIS					
2	地図記号の製図(図]解テキスト地形図 S=1/25000 用の記号)	2	国土地理院 GIS					
3		解テキスト地形図 S=1/25000 用の記号)、地図記号の図 S=1/2500 用の記号)	3	国土地理院 GIS					
4		解テキスト地形図 S=1/25000 用の記号)、地図記号の図 S=1/2500 用の記号)	4	国土地理院 GIS					
5	地図記号の製図 (No	6 国土基本図 S=1/2500 用の記号)	5	国土地理院 GIS					
6	地図記号の製図 (No	6 国土基本図 S=1/2500 用の記号)	6	国土地理院 GIS					
7	等高線 (No.7) の製	! 図	7	国土地理院 GIS					
8	等高線 (No.7) の製	図	8	国土地理院 GIS					
9	国土基本図 (No. 8)	S=1/2500 の製図	9	国土地理院 GIS					
10	国土基本図 (No. 8)	S=1/2500 の製図	10	国土地理院 GIS					
11	国土基本図 (No. 8)	S=1/2500の製図	11	国土地理院 GIS					
12	国土基本図 (No. 8)	S=1/2500 の製図	12	国土地理院 GIS					
13	国土基本図 (No. 10	S=1/5000) の製図	13	国土地理院 GIS					
14	国土基本図 (No. 10	S=1/5000) の製図	14	国土地理院 GIS					
15	国土基本図 (No. 10	S=1/5000) の製図	15	国土地理院 GIS					
	授業方法 業の進め方)		プレコ	題を多く取り入れながら、確実な定着を図るとと ビンテーションの仕方なども合わせて行い、コミ てる。					
	到達目標	地形測量の技術力が確実に身に付	寸き‡	地図編集の成果品が作成できる。					
・出席率:100% 成績評価の 方法と基準 ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、実習実効性70 成果品30点の割合を標準とする。理由なき遅刻、欠席があった場合は、合計49月 下とする。この場合、補習必要。									
	授業時間以外に ・自宅学習による授業ごとの予習、復習を心がける。 必要な学修 ・課題、レポートは期日までに作成して提出する。								
履個	履修に当たっての留意点 実習態度点は、実習中の勝手な単独行為、言葉使い、スマホ、実習に取り組む積積的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。また、出席数は測量士補養成登録施設校としての基準(100%)を満たす必要がある。								

※授業の1単位時間は45分とする

科目名	応用測量	量実習		英文名	Applied	2-21				
担当者	宮近淳一・茗荷翔太 宮近淳一・茗荷翔太 の有無				有	選択 必修	必修	科目 区分	専門科	目・実習
開講期	後期	前期:	時間(回数	: 回)	後期:	4 時間	(回数:	15 回)	授業時数	60 時間
教材 教具										
担当者 の実務 経験	宮近 淳	宮近 淳一: 測量設計会社にて多角、水準、現況、用地の測量 土地家屋調査士事務所で多角、現況、境界測量、土地調査								

【学修内容】科目のねらい(目的)

道路中心線の設置にあたり、基本となる線形の決定や、測点の打設、縦・横断測量の実施および断面 図の作成、その後、縦・横断計画を入れ、丁張設置の概要を把握することを目的とする。

【授業計画】	コマシラバス(前 期)		コマシラバス(後 期)					
1		1	中心線設置のためのコントロールポイントの測定					
2		2	IPの計算(4点交点計算)					
3		3	中心線の計算					
4		4	逆トラバース計算					
5		5	逆トラバースによる打設練習					
6		6	北ゴルフ実習場で中心線の測設(役杭・測点)					
7		7	北ゴルフ実習場で縦断測量					
8		8	北ゴルフ実習場で横断測量					
9		9	室内で縦断測量・横断測量の計算					
10		10	室内で縦断面図の作図枠を作成					
11		11	室内で縦断面図を作成					
12		12	室内で横断面図を作成					
13		13	室内で縦断計画・横断計画の作成					
14		14	北ゴルフ実習場で丁張りの設置の概要説明					
15		15 数量計算演習 (工種ごとの数量拾い出し、計算)						
授業方法 (授業の進め方)								
到達目標	中心線測量の一連の作業が理解	できる	3.					
成績評価の 方法と基準								
授業時間以外に 必要な学修								
履修に当たって の留意点	「							

※授業の1単位時間は45分とする

科目名 一般教		一般教養	Ę	英文名	Bas	Basic Liberal Arts					2-22	
担当者		宮近淳一		実務経験 の有無	無		選択 必修	必修	科目区分	一般科目	・演習	
開講期 追		通年	前期: 1時間(回数	: 15 回)	後其	月:	1 時間	(回数:		授業時数	30 時間	
教 教 教		〈改訂新	改訂新版>就職筆記試験パーフェクト問題集(株式会社 PHP 研究所)									
【学修内容】科目のねらい(目的) 社会人として必要な一般常識・SPI 問題の解答力・論作文の文章力を習得する。												
【授	業計	画】	コマシラバス (前 期)		コマシラバス(後 期)							
1	国語				1	社会						
2	国語				2	社会						
3	国語 国語				3 社会							
4	4 国語					4 言語						
5	5 英語					5 言語						
6	6 英語					言語						
7	7 前期中間考査					後期	中間考	査				
8	8 英語				8 非言語							
9	9 数学				9 非言語							
10	数学				10	非言	語					
11	数学				11	SPI						
12	数学				12	SPI						
13	数学				13	SPI						
14	社会				14	論文						
15	15 前期期末考査					15 学年末考査						
授業方法 (授業の進め方) 問題集に沿って問題を解き、各自で解答チェックする												
到達目標			点数 60 点以上が取れること。									
成績評価の 方法と基準			・出席率:70% ・成績の評価割合:100点満点で、60点以上を合格とする。満点は、定期試験60点、 出席率20点、授業態度20点の割合を標準とする。出席率の分母は影響与えない欠席 時数(フロート時間)とする。									
授業時間以外に 必要な学修			・授業予定に合わせて、問題集の反復による予習・復習を心掛けること ・自宅学習による授業ごとの予習・復習を心掛ける									
履修に当たって の留意点			授業態度点は、欠席、授業中の私語や居眠り、机上の整理や言葉遣い、授業に取り組む積極的な姿勢があるかどうかなどの平素の行動を評価するものである。 また、出席数は本校の基準を満たす必要がある。									